## 上田西高の教育



シンガポール修学旅行ガーテンズバイザベイにて

## 第63号 2019.3.2発行

					~-:
ゆきつけば またあたらしき さとのみへ 理事長	水	野	_	成	2
持続可能な開発のための教育(ESD)で学校づくり 学校長	本	美	伊佐	夫	4
あしたのために ~その一~レスリング部顧問	井	出	真	_	6
「虹が架かる空には 雨が降ってたんだ」~悔しさを乗り越えて 北信越選抜テニス男子6位 ~ テニス部顧問	正	村	真	_	8
三年目のステージ週間の取り組み 教務係・ステージ週間担当	帯	刀	秀	幸	12
ステージ週間実践報告 生徒の探求する力を養う理科実験の一例 ステージ週間講座担当	沼			淳	13
ステージ週間実践報告 世界の国について知ろう ステージ週間講座担当	/]\	林	稜	弥	14
ステージ週間実践報告 志賀高原勉強合宿 ステージ週間講座担当	松	尾	光	国	15
シンガポール修学旅行	=	学	年	슾	16
新聞委員会の取り組み新聞委員会顧問	Щ	浦		天	24
一学年学年行事・校外学習について	$\pm$	屋	正	明	26
高大接続改革をむかえるにあたって	森	下		暁	28
西高生の活躍	生	徒	숲	係	29
進路実績	進	路指	道	係	32

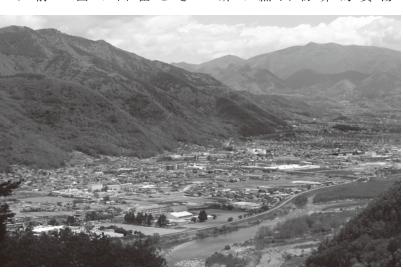
## 上田西高等学校

# またあたらしきゆきつけば

のみへ山極勝三郎博士

喜ばしい限りです。録画して としそうであれば上田市民として誠にのは全国の反響が大きかったからか、もしそうであれば上田市民として誠に士が取りあげられました。前月放送されたばかりなのに、すぐ再放送された NHK番組「歴史秘話ヒストリア」に上田市出身の医学者・山極勝三郎博

働きによる癌の治療法の研 のページに必ず載るという山 中の癌に関する教科書の最初 快挙が認められ、今では世界 鑑賞しました。日本人初の湯 のことも懐かしく思い出され 第三中の生徒達が調査しNH 極勝三郎博士の「まぼろしの 学中に、学区内の大先輩・山 でしょう。私が上田第三中在 たことに、天国からさぞ大き 究」でノーベル医学賞に輝い 佑・京大特別教授が「免疫の 極勝三郎博士。この度、本庶 より二十年も前にその歴史的 川秀樹博士のノーベル賞受賞 Kで全国放送された五十年前 な賞賛を送っておられること ノーベル賞」について、上田



員の協力を得て、上空から撮影したこともありました。
はないないという合理的な考えもあろうかと思います。しかしながら毎年同じなどないという合理的な考えもあろうかと思います。しかしながら毎年同じなどないという合理的な考えもあろうかと思います。しかしながら毎年同じなどないという合理的な考えもあろうかと思います。しかしながら毎年同じなどないという合理的な考えもあろうかと思います。しかしながら毎年同じなどないという合理的な考えもあろうかと思います。しかしながら毎年同じなど変質の表紙は長年校内施設の写真を使っていましたが、平成二十五年

歩んで参りたいと願うばかりです。これらの変化が大きな前進であり続け、今後決して後退とならぬよう心して新入生の増加、進学実績の向上、部活動の活躍など、様々な喜ばしい変化に新入生の増加、進学実績の向上、部活動の活躍など、様々な喜ばしい変化にったいることに気づきます。また、学校要覧の内容を改めて読み返えすと、たれまでの写真を並べて見ると、上田西高も周辺の街の様子も少しずつ変

され授与されたものです。周年記念の功労賞ですから十年に一度、今回長野等学校連合会創立七十周年記念に各都道府県の私学協会の推薦によって選出文部科学大臣から教育振興功労表彰をしていただきました。日本私立中学高誠にささやかな受賞の報告です。去る十一月六日東京のホテルオークラにてさて山極勝三郎博士「まぼろしのノーベル賞」の話題の後に、僭越ながら

と言われていましたが、官尊民卑の風潮もあり、県内の私立高校は松商学園 の私学団体の動きにやや遅れ昭和二十五年でした。当時から長野県は教育県 立高等学校数は三、五八六校)長野県に私立学校協会が設立されたのは全国 十七中等教育学校が本連合会を組織し活動しています。(参考・全国の国公 皆様のご支援、何よりも生徒諸君の活躍に深く感謝しているところであります の証明書でありますから、 であります。 県からは一 高等学校と長野女子高等学校の二校だけという状況で組織化の必要はなかっ にも関わりました。現在は全国の七七七私立中学、一、三二一私立高等学校、 の民主化、学校法人制度の創設、私学助成制度の確立を目指し法案作成作業 ています。 て、その翌年の私立学校法の制定においては、戦前教育の反省から私学行政 して設立されました。幼稚園や大学・専門学校を含む私学団体総連合会とし 各都道府県の私学協会相互の連携協力のもと、私学教育の振興発展を目的と 十年間恥ずべき不祥事などを起こさず、適正に学園を運営してこられたこと 日本私立中学高等学校連合会は戦後間もない昭和二十三年(1948年) 校、上田西高等学校のみでした。誠に光栄であり、有り難いこと 表彰状が個人名になっており恐縮ですが、学園全体として、この 前々回の創立五十周年には本校の水野春海元理事長が授与され 現場の先生方のご努力、保護者の皆様や同窓会の

てきました。 目指し運動を 教育環境向上を し、私立学校の へ役員を送り出 地に私立高校が創立されたので、

たのでありましょう。やがて昭和三十年代にかけて、社会の要望が高まり各

時より加入し、 会理事、 社団理事長、 私立学校退職金 三十五年の創立 本校は昭和 要職を 協会役





とも大切であると考えます。 りの進路にきめ細かく対応して教育活動を実践でき、益々その存在意義を高 考・公立高校は八十三校)私立学校は、それぞれの「建学の精神」に基づい 私立中学を含め二十六校の私立中学高等学校が本協会を組織しています。(参 では動かせない課題に対して、多くの私立学校と共に運動し改善していくこ 私立学校の運営は大変厳しい時代でもあります。上田西高校一校の努力だけ めているように感じます。しかしながら国や地方の財政状況、少子化など、 長野県私立中学高等学校協会・会長を務めておられます。 務めさせていただきました。現在は桜井達雄前校長先生が本校理事として、 て校風や特色を活かし、多様化する生徒達の個性を尊重しながら、一人ひと 県内では通信制と

ティには国会議員など八○名以上の政治家の出席もあり、 職金の充実を県に求め、 り重要なことであります。長野県では私学団体が一致団結して、教職員の退 と安定した処遇を保障し、教職員の資質や教育の質の向上を図ることは何よ 向上を目指して更に連携を深めよう」ということでありました。式典後のパー 私立学校の振興及び地域における教育・文化の発展に寄与することを目的と は、大きな成果でありました。その後更に公益性を高め、平成二十五年には の自由が実現するよう積極的な運動を展開していきたい。教育の質の一層の おける機会均等が実現するよう費用負担の公私間格差が是正され、学校選択 する公益社団法人・長野県私学教育協会として活動するようになりました。 生徒達が安心して学べる教育環境を整えるために、まずより良い職場環境 ホテルオークラの創立七十周年記念式典において連合会・会長吉田氏の言 「創立以来私学振興の充実を目指して活動してきた。今後とも教育に 公費助成を実現し退職金社団を立ち上げられたこと 次代を担う生徒達

は国の未来そのものであり、私学教育 の責任の重さを改めて感じた次第です。 に携わる関係者への期待の大きさとそ

を深めていただければ幸いです。 私学協会と上田西高校の歩みに理解 またあたらしき さとのみえ」



# 教育(ESD)で学校づくり持続可能な開発のための

学校長 本美 伊佐夫

# 1. 持続可能な開発のための教育(ESD)とは

加盟申請中です。 月から平成三〇年八月までユネスコスクールのチャレンジ活動を行い、現在上田西高校は平成二八年五月に上田ユネスコ協会に加盟し、平成二九年八

(ESD:Education for Sustainable Development)であり、ESDは、私たちとその子孫たちが、この地球で生きていくことを困難にするような問題について考え、立ち向かい、解決するための学びで、持続可能な社会の担い手を育けません。地球上で起きている諸問題は、遠い世界の出来事ではなく、自分りません。地球上で起きている諸問題は、遠い世界の出来事ではなくてはなりません。地球上で起きている諸問題は、遠い世界の出来事ではなく、自分たちの身近な生活にも関連があり、よく言われるように地球規模で考え、足元から行動する (Think globally, act locally)を生徒に意識づける教育を行っていきたいと考えています。



# 2. ESDの実践に必要な観点

わり」「つながり」を尊重できる個人を育むこと②他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関①人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと

本校の教育をブラッシュアップし、学校づくりを行います。働性)」とも合致しています。ESDを活用し、より意識的に、より明確にある「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・多様性・協おう」に重なり合う教育内容ですし、文部科学省の新しい学力観のひとつでこれは本校の校訓「己を尊び自主性を確立しよう」「他人を尊び社会性を養

## 3. ESDの教育内容

「本校のESDの重点プログラム」については、後で説明します。(図1に示しましたように、ESDの教育内容の主たるものは次の五つです。)

- ①国際理解教育
- ②エネルギー教育
- ③環境教育
- ④世界遺産や地域の文化等に関する教育
- ⑤その他関連する教育

# 4. 本校のESDの重点的なプログラム

## ① 国際交流に係わる活動

も毎年いくつかの海外の高校を受け入れています。程度の生徒が三週間CCGSとBDCに行っています。その他に、学校交流交換留学を数名ずつ行っています。短期留学は、毎年三月にそれぞれ一五名リアの交流校のビショップ・ドゥルーイット・カレッジ(BDC)に長期のスクール(CCGS)と姉妹校となり、毎年、CCGSと同じくオーストラスクール(CCGS)と姉妹校となり、毎年、CCGSと同じくオーストラストー校は一九九四年からオーストラリアのセントラル・コースト・グラマー

ております。

ております。

でおります。

でおります。

でおります。

でおります。

で異文化体験を共有するようにしています。

二○年以上の国をし、学校全体で異文化体験を共有するようにしています。

二○年以上の国長期短期の留学は必ず全校集会で生徒がプレゼンテーションする留学報告

## ② 海外修学旅行に係わる教育

## )地域貢献に係わる活動

ます。また、南口広場が整備された二〇〇三年以降は、生徒会・Dプロジェています。昨年も全クラスで実施し、拾ったゴミの内容と量を全校に報告し校から最寄りの西上田駅までの通学路および駅の南口広場の清掃活動を行っ本校は一九八七年に現在地に移転して以来、毎週一クラスの生徒全員が学

係わる機会が多く、地域の方々からも生徒を育ててもらっております。 におる機会が多く、地域の方々からも生徒を育ててもらっております。 にいます。毎年十月末ごろに南口広場で、地域の住民・企業の方から助言していただいております。そのほか、年二回南口広場で「星を見る会」を行いたがいております。そのほか、年二回南口広場で「星を見る会」を行いたがいております。そのほか、年二回南口広場で「星を見る会」を行いたがいております。そのほか、年二回南口広場で「星を見る会」を行いたがいております。そのほか、年二回南口広場で「星を見る会」を行いたがいております。 にいただいております。そのほか、年二回南口広場で「星を見る会」を行いたが、中学校の児童・生徒との交流を深めるための「緑のフェスティバル」というイベントを開催しています。本年は一〇月二七日に実施しました。イというイベントを開催しています。本校生徒は地域住民との文化祭などに出演・出品をしています。生徒会・Dプロジェクト部は「上の文化祭などに出演・出品をしています。生徒会・Dプロジェクト部は「上の文化祭などに出演・出品をしています。本校生徒は地域住民との文化祭などに出演・出品をしています。本校生徒は地域住民との文化祭文が、中学校・中学校の児童・生徒を育ててもらっております。

## ④ ESDに係わる学習

夏休み最終週の一週間と、卒業式後の一週間に「ステージ週間」を設け、 「Gender Equality」、生物多様性では「動物学」「動物保護に私たちができること」、環境問題では「千曲川水質調査」「30・10運動」「夏の天体観測」、 毎年九月と三月に全校学習発表会を行い、各講座の生徒が学習内容をパワー地域文化研究では「上田紬」などが今まで開講したESD関係の講座です。 毎年九月と三月に全校学習発表会を行い、各講座の生徒が学習内容をパワー がイントで発表し、全校で共有しています。

## 5. まとめ

た「地域社会に貢献できる有為な人材の育成」に取り組んでまいります。に、より明確に本校の教育をブラッシュアップして、本校の建学の精神に添っ目新しいものではありませんが、ESDの観点から見直しをし、より意識的以上四つの重点プログラムは本校が長年取り組んできた教育活動であり、

# あしたのために ~その一~

# レスリング部 **監督 井出 真**一

(雨天を望む生徒も多いと思うが・・・)を決定する、重要な要素であると言える。晴れがいいな、と思っている。メニューは伝えてあるが、最後は天候が決める。これが生徒の朝練習メニュー日課になってしまっている。前日から、朝練習に備える力を養成するためにのは風向きである。自宅で起床し、遠くに見える煙突の煙の方向を見るのがのは風向きである。自宅で起床し、遠くに見える煙突の煙の方向を見るのが翌朝の天候を前日からとても気にしている。晴れ、曇り、雨の他に重要な

がとても重要な作業であると気づいたのは間もなくしてからであった。いたが、ボーッとやっていると石にあたり、ガツンと反発を喰らう。入射角が、いざやってみると困難極まりない。初体験という新鮮さで漠然と掛けてである。当初は、補欠の仕事という古い考え方の先入観で半ば軽視していた朝七時。練習前のルーティーンは決まっている。トンボ掛け。難しい作業

でもゴロゴロ出てくる。鋭利なものも多数あり、危険回避のための必至な作てもゴロゴロ出てくる。鋭利なものも多数あり、危険回避のための必至な作業。それでも利用する部活の皆で掛けると中々なコースになってくれる。あたいるが、朝練習は、ちょっと・・・と。ここに付け入る隙は確かに存在する。たの高校総体、国体、グレコ大会、新人大会等で活躍した生徒たちも、後先の高校総体、国体、グレコ大会、新人大会等で活躍した生徒たちも、後先の高校総体、国体、グレコ大会、新人大会等で活躍した生徒たちも、後先の高校総体、国体、グレコ大会、新人大会等で活躍した生徒たちも、後先の高校総体、国体、グレコ大会、新人大会等で活躍した生徒たちも、後先の高校総体、国体、グレコ大会、新人大会等で活躍した生徒たちも、後先の高校総体、国体、グレコ大会、新人大会等で活躍した生徒たちも、後先の高校総体、国体、グレコ大会、新人大会等で活躍した生徒たちも、後先の高校総体、国体、グレコ大会、新人大会等で活躍した生徒たちも、後来はおうか、試合終了までバテた姿は皆無。逆に相手を追い込み、その後のとはおうか、試合終する。既くても 頂張る。寒くても 頑張る。励ましながら。

ことわざは間違いなしと確信。間の合計は、間違いなくメダルが手に入る価値に匹敵するであろう。この『早起きは三文の得』、現在の換算だといくらになるか分からないが、三年

朝練習無くして勝利なし!

賞した思い出は忘れられないものとなっている。とても懐かしい。時から関わらせてもらった。頑張ってくれた生徒たちのお蔭である。また、時から関わらせてもらった。頑張ってくれた生徒たちのお蔭である。また、全国を相手に大健闘した素晴らしい生徒たちに出会えた運命にも感謝したい。 
入賞させてもらった。この間では教え子とのアベック出場が思い出に残る。また、 
京でのおらじ」そのものであったが、ともに練習し、出場し、アベック入 
八言として初出場し、二十九歳までの間、何回か 
入賞させてもらった。 
京の間では教え子とのアベック出場が思い出に残る。 
また、 
は選手の過半数を輩出した高校が監督を務める為、若い 
と言として初出場し、二十九歳までの間、何回か 
な言として初出場し、二十九歳までの間、何回か 
は書十一回、監督十九回、 
は書十一回、監督十九回、 
は書十一回、 
においる。とても懐かしい。

ながら今回の場をお借りして、報告とさせていただきます。
てしまった。猛省し、次につなげたい。この受賞に関しては、まことに僭越にどうして届かなかったか・・・指導力不足で生徒たちに悲しい思いをさせ三位入賞者が十数名ほどいた。あと一勝、あと二勝。たったこれだけのこと三位入賞者が一数名ほどいた。あと一勝、あと二勝。たったこれだけのことによった。

関係者と少し談笑して、これまた早々にお帰りになられた。心残りの報告です。れたそうです。代わりにスポーツ庁長官の鈴木大地氏が挨拶されたが、水泳天候で警報発令。両陛下は雨天の総合開会式後、早々に皇居へお帰りになら用意されていた。平成最後の式典に心躍ったが・・・台風の接近に伴なう悪余談ではあるが、この授賞式後は、天皇皇后両陛下と記念撮影、食事会が





までの準備を進めた。 二名が選出され、この上ない喜びと、任務の重責にに襟を正す思いで、渡米ただいた。今年度の競技成績により総合的に選ばれた十三名の中に本校から、先頃、一月四日~十五日まで高校日本代表を引率し、監督を務めさせてい

プテンに大橋が任命された。一瞬、彼の顔が引き締まった。己紹介と、決意表明。その後各州のグループに分かれ、アリゾナ州チームキャだった。高体連理事長より挨拶と、注意事項の話をいただき、全員の前で自だった。高体連理事長より挨拶と、注意事項の話をいただき、全員の前で自新年早々の一月三日、上田発八時三十二分の新幹線で成田へ向かった。集

翌日は試合日。各家庭から集合し、国翌日は試合日。各家庭から集合し、国が上山ないなり意識した様子であり、気まてこは国内のトップ選手たち。試合はは抜けないなと引き締めさせた。とはいえそこは国内のトップ選手たち。試合はで、自信を付けられたと思う。ただ、全勝し、自信を付けられたと思う。ただ、全勝し、自信を付けられたと思う。ただ、全勝し、自信を付けられたと思う。ただ、全勝し、自信を付けられたと思う。とはいるがら日々を過ごし、生徒たちの疲労もながら日々を過ごし、生徒たちの疲労もながら日々を過ごし、生徒たちの疲労もながら日々を過ごし、生徒たちの疲労もながら日々を過ごし、生徒たちの疲労も、



アリゾナ州チャンピオンに勝利した大橋

ちの目がパッと開いた一瞬でした。グランドキャニオン見学です。歴史、地理の学習プログラムです。生徒た

ブランドチャニナンでランドチャニナンでランドチャニナンでランド・アウェーでタフに戦う必須要素でありました。はり思ったのですが、ファーストフード攻めに遭ったようです。朝マック、していました。英会話への積極参加プログラムは合格でした。食文化ではやしていました。英会話への積極参加プログラムは合格でした。食文化ではやこないました。でランドチャニナン

グランドキャニオン

である。コロラド高原が長年にわたるコロラド川による浸食作用で削り出された地形である。先カンブリア時代からベルム紀までの地層の重なりが露出している。断崖は平均の深さ約一二〇〇メートル、長さ四四六ポットル幅が点の、フィニックスから約五時間半、国立公園駐車場におり、峡谷へ向拠点の、フィニックスから約五時間半、国立公園駐車場におり、峡谷へ向かう。近づくにつれ胸の高鳴りと、何とも言えない緊張感に支配される。目の前に広がる大絶景、まさに世界遺産。本当にしばらく絶句でした。どんと構えているその姿。その歴史と比めであると人類はちっぽけなものだな

私事ですが、帰国したら、一喜一憂いました。 遠征の終わりにあたり、この写真でメとさせていただきます。この写真でメとさせていただきます。 この写真でメとさせていただきます。



## 虹が架かる空には 雨が降ってたんだ」

かった。「勝てなかったのは監督の責

## 悔しさを乗り越えて 北信越選抜テニス男子六位 (

テニス部 顧問 正 村 真

北信越選抜 五位決定戦 北陸 上田西

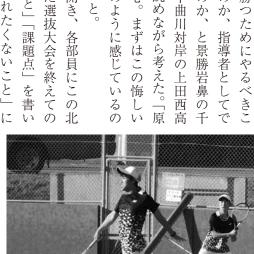
上田西テニス部のドラマ(生徒の頑張り)が詰まっている。 S新聞に掲載された僅か一行の試合結果の行間には語り尽くせない多くの

は涙が止まらず声を発することができなかった・・。 達の頑張りを思うと、涙を流す予定はさらさらなかったが、ミーティングで 東・勝木が流れを作り、シングルス3の中澤がプレッシャーを払い除け勝利 ポイントを握られるも巻き返し、タイブレークの接戦を制し、ダブルス2の とし、ダブルス1の塩川・鈴木が取り、シングルス2の前所が相手にマッチ いた二年の鈴木の涙を見て、この一年間の悔しさをバネに練習してきた選手 し、「北信越出場の切符」を手にした。勝利後、ベンチで声をあげて泣いて 抜大会はシングルス3本、ダブルス2本の団体戦。シングルス1の中島が落 二〇一八年九月選抜長野県大会。上田高校との北信越をかけた決定戦。 選

グではメンバー全員嗚咽が止まらず、 眼前の北信越出場を逃したどうしようもない悔しさで、その後のミーティン 勝利への気迫、隣のコートからポイント間に、「山本先輩まだまだこれから ドから逆転負けを喫し、そのままの流れでシングルス3の山本が落とし、ダ とり、 ですよぉ!」と、魂を震わせて叫んでいた鈴木の声が耳の奥にずっと残った。 ブルス2は試合途中のまま打ち切りで敗戦が決定した。ダブルス2の柳沢の 昨年二〇一七年の選抜長野県大会。「二年連続北信越大会出場」 ダブルス1の内堀・塩川が落とし、シングルス2の中島が五-二リー 最後の北信越がかかった男子屋代との決定戦。シングルス1の古橋が 私自身、 声を絞り出すことができな の目標を

> 任。 敗戦を部員がどのように感じているの 点は部員たちの心。まずはこの悔しい 校をぼんやりと眺めながら考えた。「原 曲公園に登り、千曲川対岸の上田西高 0 か聞いてみよう」と。 きることは何なのか、と景勝岩鼻の千 とはできていたのか、 大事な本番で勝つためにやるべきこ この悔しさを忘れずに、ここから、 (ゼロ) から、スタートしよう。」と。 指導者としてで

ミーティングを開き、各部員にこの北 は次の生徒の記述があった。 てもらった。「忘れたくないこと」に 信越出場を逃した選抜大会を終えての 「忘れたくないこと」「課題点」を書い



D (ダブルス) 1

塩川・鈴木

『先生や保護者を北信越に連れて行けなかったこと』と・・・。

ずかしくなった。他人(ひと)のことまで思いを寄せている部員がいる。選 北信越大会に連れて行こう」と。 ていった監督の「責任」を痛感した。自分の中の部員に尽くす「覚悟」のス 抜大会で、掌に掴んだ「勝利」が、するすると砂がこぼれるかのように消え イッチがパチッと入った。「次の三年生最後の総体・来年の選抜では絶対に ハッとさせられた。自分に対してやるせない悔しさを感じていたことが恥

ことを自覚させること\_ 意識を変えること」「強豪校との試合から自分たちにできること・足りない 顧問・監督として自分にできること。「選手を信じること」「普段の練習の

なかった人はダチョウコースからの通常練習。 目標をあげて達成できた人から通常練習に取り掛かるようにした。達成でき 普段の練習においては「達成感」を入れるよう工夫を凝らした。 トレーニングでは体幹強化の 各自達成

いる。 たことも幸甚である。西高テニス部の卒業生(寺島和希コーチなど)も合宿 照明を設置して頂き、冬場の学校練習に長く取り組むことができるようになっ ジリティ」を今まで以上に取り組んだ。昨年度より、学園がオムニコートに ため、「神社ピクニック」「サバイバル」「ラインタッチ」「サーキット」「ア や普段の練習に参加してくれる機会が年々増え、多くの檄を飛ばしてくれて

受けてくれた多くの高校・大学の監督・顧問の先生方に感謝である。 の境内の掃除をさせて頂いた。各所において、力足らずの上田西を快く引き 宥玄和尚に毎回本当にお世話になり、感謝の気持ちを込めて顧問ともども寺 をさせて頂き、「心の整え方」「呼吸法」を体感させて頂いた。塩田満願寺の き付けた。ステージ週間には西高テニス部卒業生の「ご縁」から、 卒業生に飛び込みで試合をさせて頂き、全国大会の会場の空気感を脳裏に焼 年の全国総体の会場が三重県四日市であるから、弾丸日帰りで、実際の大会 を思い出すだけで吐き気が・・。」という生徒も多々・・。総体前には、 みっちりと練習をさせて頂いた。「あの練習やトレーニング(タイヤ引きなど) 学、日本福祉大学の監督の先生にお願いし、特に名古屋経済大学では、夏の 富山国際、 県外の大会参加を実施した。県内:松商学園、屋代、市立長野、県外:北陸 会場に部員を連れて行き、その場にいた四日市工業や桑名高校のテニス部の 合宿を二泊三日で参加させて頂き、朝から晩まで昼飯十五分間で、大学生と 「ご縁」を最大限活用し、今まで以上に、強豪校との試合、大学との遠征、 金沢、本庄東、甲府工業など。大学では上武大学、名古屋経済大 寺で座禅 今

てくれた。嬉しい限りである。 と、卒業生や三年生の保護者、 活動・大会記録・写真を生徒の文章とともに小まめに西高ホームページに掲 ので「こちらから発信しないと」ということで、西高テニス部の日々の遠征 ことでHPに掲載し、今回の選抜北信越予選の時も、次の日に、「HP見たよ\_ 子を世間に伝えるようにした。重要な大会の前日には、「大会前夜」という メジャースポーツのように高校テニスが紙面を賑わすことはほとんどない (これが結構大変なのだが・・)、汗を流して輝いている生徒たちの様 迅速な広報係の先生方に感謝 他のテニス部の顧問の先生が応援に駆け付け

> をし、 揮しチームを支え、陰で人一倍の努力 に誰にも負けない心と体の強さを発 えた。トレーニングでは古橋陸ととも 抜はメンバーに入るものの、北信越で 功績が大きい。柳沢は一年生の時の選 長の柳沢彰吾、女子部長の児玉華菜の ダブルスとしてチームを根底から支 ダブルス2として、三年生の総体では の出場機会はなく、二年生の選抜では 越六位を達成できたのは、三年男子部 チームを支えた精神的支柱で



田

男子レギュラーメンバー

二人とも誰よりも悔しさを経験しているからこそ、他人の痛みがわかる、 児玉の父親が、体から滲み出るほどの嬉しすぎる満面の表情が忘れられない。 田染谷のシードがついた強豪選手にタイプレークの激戦の中、 から信頼できる大黒柱の部長である。 大金星の勝利

出すことを心掛けている。(正村)「礼矢。浅間温泉庭球場でやっているから『浅 崩れた三年生から、 S1の古橋が落とし、S2の中島が取り、ダブルスの柳沢・鈴木がタイブレー え緊張でガチガチになっているので、 クの接戦を落とし、 決勝で赤穂高校にまさかの敗戦。迎えた市立長野との北信越決定戦の試合で 上田との決定戦前のレギュラー円陣ミーティング。試合前、 靭帯損傷し、東抜きで東信大会を優勝し(女子準優勝)、迎えた選抜県予選 しよう』」と。八月の東信選抜大会前に、男子部長の東が校内戦で左足首を 二〇一八年六月。 「去年の選抜の雪辱を果たし、三年生に感謝とともに『北信越出場を報告 次の代(東大耀・寺島綾菜部長)へと交替した。 北信越出場を果たすことが出来ず、ぐちゃぐちゃに泣き 柳沢彰吾部長体制で臨む最後の県総体。 場が和むようリラックスの空気を作り 選手はただでさ 男子団体戦

のフレーズでオヤジギャグを」(2秒後)

(鈴木礼矢)「できました。上

田との決定戦。 付けていたのかもしれない この鈴木のウィットに富んだ機転の速さが既に上田西の 朝まで(浅間で)頑張りましょう!」(みんな)「おおぉ 「勝利」を決定 くっし

## (生徒HP掲載文章より抜粋

(新人戦)県予選を終えて

県外への遠征などを全力で頑張ってきました。 の分まで自分達の代では絶対に北信越に行こうと心に誓いました。 さと情けなさで言葉がでず泣きました。僕は北信越に出場できなかった先輩 戦のメンバーでした。この時屋代と北信越決めをし、・・僕が勝てる試合に らこの大会の日まで団体戦で北信越出場にするためにさまざまな辛い練習や それがチーム全体の負けとなり北信越出場を逃しました。 去年僕達はこの大会が三位で北信越を逃しました。その時僕は団体 硬式テニス部男子部員 二年六組 中島 その日か 僕は悔し 撤太

信越出場を決める事ができました。 り上げて良いムードで試合をする事ができました。 中で全員が大きな声を出し応援をし、 、合内容ではなく何度もチームのみんなに助けられて去年出来なかった北 県大会の日を迎えチーム全員で一丸となって戦いました。 プレイをしている仲間も大きな声で盛 僕自身は決して納得でき 試合の

ました。 本当に嬉しかったです。 るように北信越大会ではチーム全体で元気を出して勝ちたいです。 この結果に満足せず、 上田西に入りテニスをやって良かったなと凄く思い 北信越では格上の高校に競り勝ち全国に行け

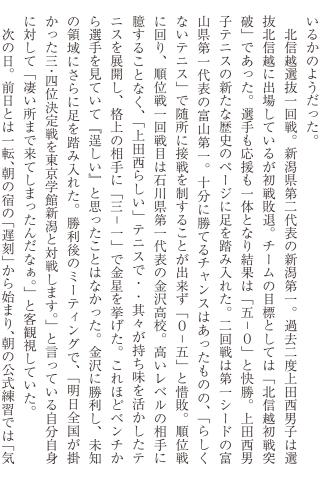
迎えた十月二十七日北信越選抜大会(松本浅間温泉 ものだった。三年の先輩方に、「感謝」とともに「北信越出場」の報告をし、 たものは、 二年生女子が、北信越にと、気持ちの籠った『舞』 去年の決定戦の雪辱を果たし、 勝つことでさらに浮き彫りになった課題、今のチームに必要な 北信越出場を成し遂げた。そこで見えてき の手作り横断幕を掲げ

つもと違う生徒の雰囲気を感じていた。北信越大会に出場して浮かれて

と動かない選手が違っていた・・。 と練習。いつもは事細かに指示を出さない 段であれば雨の中、 朝六時から土砂降りの雨。しかも寒い。 ングでの表情、 してやるべきことに集中している空気感 いる空気ではなく、「勝つためにチームと 課題意識を持って取り組み、 挨拶、 早い就寝時間。 宿泊先での夕食、 前日の公式練習から、 宿泊所での立ち居振る 早朝練習も松商学園で 嫌な顔をする所を平然 朝食、ミーティ 荷物の整 時間通り

今まで見たことがない美しい 朝、 雨上りの松本浅間温泉庭球場には 虹虹 のアー

チが『西』の空に架かっていた。「上田西の勝利」 の前兆を示唆してくれて





浅間の「西」の空に架かる「虹」

大舞台北信越大会が終了した。 大舞台北信越大会が終了した。

## (生徒HP掲載文章より抜粋)

とに対しての感謝を忘れずに頑張っていきたいです。これからも応援宜しくさらに超えられるよう日々の努力と自分がテニスを続けられているというこ満足してはいけないという気持ちが生まれました。次の総体ではこの結果を・・・結果は北信越六位と誇りを持てる順位に立てたのと同時にこの結果に『北信越選抜予選を終えて』(硬式テニス男子部長 二年七組 東 大耀)

国テニス専門部に送りたいと思う。 国テニス専門部に送りたいと思う。 に応えて、胸を張って「北信越六位補欠校」の推薦文を心を込めて書き、全上位校で何かない限り望みは一パーセントぐらい。だが、生徒たちの頑張りが全国大会出場の可能性があり、「北信越6位」で全国出場できる可能性はが全国大会出場の可能性があり、「北信越6位」で全国出場できる可能性は部員の頑張りに心から嬉しい気持ちで一杯です。男子は北信越四~五位まで、北信越六位」の結果。悔しさを乗り越え、練習を重ね、予想を上回る選手・

木を育てていくんだ♬』(「RAIN」SEKAI NO OWARI )『♪虹が架かる空には雨が降ってたんだ♬ ♪虹はいずれ消えるけど雨は草

合わせ、部の中で「すったもんだ」が絶えない毎日ではあるけれども、大好――上田西高校テニス部顧問として赴任して十七年。部員とほとんど毎日顔を

したない、原動」の二文字しか出て来ない。大会・練習を通して、日々させて頂き、「感謝」の二文字しか出て来ない。大会・練習を通して、日々させて頂き、「感謝」の二文字しか出て来ない。大会・練習を通して、日々させて頂き、「感謝」の二文字しか出て来ない。大会・練習を通して、日々させて頂き、「感謝」の二文字しか出て来ない。大会・練習を通して、日々させて頂き、「感謝」の二文字しか出て来ない。大会・練習を通して、日々させて頂き、「感謝」の二文字しか出て来ない。大会・練習を通して、日々されば、信頼が得られない。自分自身、やらない人に何か言われることがたわるからこそ、過程をとにかく貪欲にならなければならないと思う。真剣だわるからこそ、過程をとにかく貪欲にならなければならないと思う。真剣だわるからこそ、過程をとにかく貪欲にならなければならないと思う。真剣だわるからこそ、過程をとにかく貪欲にならなければならないと思う。真剣だわるからこそ、過程をとにかく貪欲にならなければならないと思う。真剣だわるからこそ、過程をとにかく貪欲にならなければならないと思う。真剣だわるからこそ、過じ志を持つ仲間と時にはぶつかり合い、厳を学び、強い心を養い、味のある豊かな人間になるための「肥やし」となる。

ラリーは続いていく・・。 「北信越六位」は通過点に過ぎない。 むしろここが本当の「スタート地点」 と言えるかもしれない。北信越選抜上 田西最高成績は男子「六位」女子「八 田の最高成績は男子「六位」女子「八 田の最高成績は男子「六位」女子「八 田のよっである。「上田西テニス部男女全 を言えるかもしれない。北信越選抜上

で全国選抜高校テニス大会出場決定。 受員会の結果、北信越五位北陸高校まの皆様に厚く御礼申し上げます。 の皆様に厚く御礼申し上げます。 の皆様に厚く御礼申し上げます。



「舞」の手作り横断幕

ていきたい。

## 二年目のステージ週間の取 幸

帯 刀 秀

## ① 目 的

ステージを選択し、探究活動や課題解決型活動に主体的に集中して取り組み、 クラブ活動・生徒会活動・国際交流)を提供している。生徒各自で取り組む 二十一世紀型学力の育成、推薦入試等に役立つ活動を体験する。 本校では日頃から、生徒が活躍する舞台として四つのステージ(学力向上・

春:三月七日(木)、 夏:八月二〇日 (月)、二十一日 (火)、二十二日 (水)、二十三日 (木) 二十四日 (金) 八日 (金)、十一日 (月)、十二日 火

ステージ週間発表会:夏期九月二十五日 (水) · 春期三月十九日 (火) 終業式

## ③実施内容

ステージ	部活動	国際教育	生徒会活動	学力向上	学力向上
対象	強化部活動	希望者	生徒会役員	特進コース	上記該当者以外
内容	4 各部活動遠征	CCGS短期留学参加者	生徒会活動	勉強合宿補修	課題解決型講
活動主体	強 化 部	国際	生徒会	進路指導	教務
担当	■ 各部活動顧問	国際係短期留学引率	生徒会顧問	進路特進担当	上記以外職員

## ④講座一覧

ステージ	講座名	対象生徒
部活動	硬式野球部	硬式野球部員
部活動	サッカー部	サッカー部員

//	住空間を考える	学力向上
//	ゴルフ実習	学力向上
//	バーチャルトラベル	学力向上
//	春に親しむ	学力向上
//	美々ッド	学力向上
//	身の周りの課題発見	学力向上
//	「NHKスペシャル映像の世紀」で見る世界現代史	学力向上
//	世界の国について知ろう	学力向上
//	海洋生物探究	学力向上
//	夏の天体観測	学力向上
//	酵素の探求	学力向上
//	日本の絵本を英語に翻訳	学力向上
//	数的論理とその実践	学力向上
//	l am Japanese!	学力向上
//	論文を作ろう	学力向上
一般生徒	21世紀スキルを身に付けよう	学力向上
3年進学	就職対策講座	学力向上
3年進学	医療看護受験対策講座	学力向上
特進3年	3年特進学習週間	学力向上
特進クラス1年・2年	志賀高原勉強合宿	学力向上
ECC部員他	-00% English	国際教育
セブ島語学研修参加者	セブ島語学研修	国際教育
生徒会総合本部役員	生徒会	生徒会
吹奏楽部員	吹奏楽部	部活動
軟式野球部員	軟式野球部	部活動
剣道部員	剣道部	部活動
女子バレー部員	女子バレー部	部活動
硬式テニス部員	硬式テニス部	部活動
陸上部員	陸上部	部活動
レスリング部員	レスリング部	部活動

した。生徒も初めは戸惑いもあったように感じます。それが一年、二年とス テージ週間を行う中で今では教員も生徒も各講座でしっかりと課題を持ちス 企画する教員も何をどのようにやったら良いのか手探り状態でのスタートで ステージ週間も今年で三年目を迎えました。ステージ週間を始めた当初は、

ワーポイント作りや発表などだいぶ板についてきてスムーズに発表会ができ るようになりました。 テージ週間に臨めているように感じます。ステージ週間の発表でも今では

ステージ週間が生徒にとって有益なものになるように努力していきたいと考 生徒にはステージ週間を通して広い視野を持ってほしいと思います。今後も など、ステージ週間があるからこそ多くの活動ができるのだと感じています。 コースの勉強合宿や補習、 ステージ週間中に行われるCCGSへの短期留学やセブ島語学研修、 部活動の遠征や試合、課題解決型講座の校外学習 特進

## ステージ週間実践報告

## 生徒の探求する力を養う理科実験の 例

理科 沼 口

淳

以下のように示している 平成三〇年三月公示の高等学校学習指導要領では、 理科における目標を

- (一)自然の事物・現象についての理解を深め、 実験などに関する技能を身に付けるようにする 科学的に探究するために必要
- (二)観察、 実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (三)自然の事物・現象に主体的に関わり、 科学的に探究しようとする態度を養う。



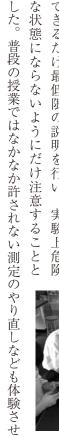
器具や材料をどう使うかを考えさせた

現象として生物と化学の両面からアプ 食品や日用品に含まれ、自然の事物 探求するには丁度よいと考えた。 のように、科目をまたぎ時間をかけて ローチする必要がある。ステージ週間 して酵素を取り上げた。酵素は身近な 右記目標を達成するために、題材と また、この「酵素の探求」というテー

> 求に必要な「工夫する」力を養うことが本講 切さを学んでほしいと考えた。ついては、探 まざまな場面において「工夫する」ことの大 座の主題となるよう指導を行った。 マを設定するにあたり、生徒が理科実験のさ

実験材料の加工

な状態にならないようにだけ注意することと できるだけ最低限の説明を行い、 指導中は、実験方法や器具の取り扱いなど、 実験上危険



ることができた。また、記録や測定のツールとして、スマートフォンとプリ

ンターを準備し、生徒に活用させることを試みた。

リを用いて、酵素反応を経時的に再現表示している生徒も見られた。これは カメラ機能である「タイムラプス」という、 測定や結果の記録にスマートフォンを活用する生徒も多く見られた。 指導者が考えていた測定評価方法にはなく、大変感心させられた。 ていた生徒が、自ら手順を考えて行うようになってきた。 ステージ週間が進むにつれ、はじめはこちらの説明のまま実験 動画を時間短縮で再生するアプ また、 酵素活性の

な要素を含み、かつ自分たちが探求したことを伝えたいという思いがあふれ となるように」とだけ生徒に伝え、工夫させた。その結果、理科として必要 して必要な最低限の項目を伝え、それ以外は、「読み手に伝わる発表ポスター また最終日には、 実験内容のまとめを模造紙にて行わせた。理科の発表と



た、個性的な発表用ポスターとなった。

きたのではないかと考える。 ながらやってみる、どうしたら再現性が得られるか なったと考える。特に、グループで協力し、工夫し など、高校教育の先で必要なスキルを生徒が体験で 十分な時間を確保しながら実験・研究を行う機会と ステージ週間は、理科に興味関心を持つ生徒に、

また指導者である私も、 生徒の理科探求力および

関わることができるテーマを設定したい。 きた。ついては、本ステージ週間が理科の授業研究のよい機会になったと考える。 実験技能の向上に向けた指導方法について、 次回の、 ステージ週間でも上記指導要領の目標を踏まえ、生徒が主体的に じっくり検討しアドバイスがで

## ステージ週間実践報告

# の国について知ろう

公民科 小 林 稜 弥

超えるこの数字は世界で悪質な労働に従事する、または従事させられている 子どもたちの数である。 もあっさりと答えられてしまったことを覚えている。日本の人口をはるかに 「一億六千八百万人」まず、この数字は何を表すかと問いかけた。 意外に

そうした目的をもって本講座を開講した。 て行動してほしい、世界の社会課題について知り、 一世界の現実に触れ、新たな視点・価値観を獲得し、国際社会の一員とし 考え、 行動してほしい\_

働環境・待遇など映像作品を通し課題の認識をはかった。 者となっている、 フリカのケニア・ウガンダにおける「最悪の児童労働」子ども兵(Child 本講座では数ある社会課題の中で、 カンボジア内戦と内戦終結後も残る地雷埋設地域における貧困問 問題を取り上げた。そうした課題の背景や子どもたちの現状や労 東南アジア圏における人身取引 生徒と同年代の子どもたちが主な被害 (Human Trafficking) ア 問

えかける作品である。生徒たちは「いまこうし 人々のために日本人として何ができるのかを訴 ニアの子ども兵の現状を通して、観ている我々 に具に伝え「いのち」とは何か。苦しむ世界の 一日目に紹介した「風にたつライオン」はケ



ガトゥンバ

ができた講座であった。

を感じることができた。具体的な解決法までは導くことができなかったグ 行った。結果としては、「募金をしたい」、「その子たちを救える方法はない 題解決法を考察し最後に解決案を互いに発信しあうというワークショップを 国際協力機構)で課題解決手法として用いられるPCM手法を元にして、課 にすること、他者のために尽くすことの重要性を改めて感じた。」など生徒 ループもあったが、これから一人ひとりが社会に対して「できること」を探 でも生徒一人ひとりが身近な社会問題に対して取り組んでみようという意思 を考えるまさにこの講座の目的を達成できた瞬間を演出できたように思う。 て平和に暮らせているのが当たり前ではないことを知った」、「どうやったら か考えていきたい」、「ボランティアやってみよーかな」など、拙い進行の中 人ひとりが自らの価値観と向き合い、 (過酷な環境にある子ども兵を)助けられるのか」、「命の尊さや、 最終日には、 実行してほしいと考える。 今回取り上げた社会課題に対して、JICA(独立行政法人 他者や社会のためにできることは何か 自分を大切

講座の生徒、 ルンジのガトゥンバ地方に寄付を行った。 また、講座の一環として社会問題に対して実際に行動に移すことを目的に、 諸先生方から文房具を集め、 世界最貧困国であるアフリカ・ブ 以下はその写真とデータである。

送付先:ブルンジ聖ザビエルガトゥンバ第六学校 寄付物:鉛筆、ボールペン、シャープペンシル五 ノート八冊 二六本

ことこそ、現代人に求められる資質なのではないだろうか。 背けることなく、 るようになった。こうしたグローバル化の元で価値観の 衝突や様々な格差が生じている。こうした現実から目を 価値観と出会う機会が増加し、多様性が重要視され グロ 生徒一人ひとりから国際人としての資質を感じること ーバリズムの進行により近年では多様な民族 困難にあえぐ人々の手を取り共に歩む



文房具を受け取る子ども



## ステージ週間実践報告 原勉強合宿

## 一学年特進コース担任 松 尾 光 玉

きた勉強合宿であるが、その基本的精神は変わらず貫かれている。 志賀高原勉強合宿は、十年以上にわたり本校で実施されてきた夏の恒例行 場所やカリキュラムなど試行錯誤を重ね、形を変えながら続いて

間たちとの切磋琢磨を通じ、 なくしては得られない。人間性を伴わない学力の伸長はない。それゆえの「合 かう個としての主体性を養い、学力の定着・伸長をはかる」ことがそれである。 生徒の進路実現のための「学力」は、その礎である「精神、 すなわち「日常生活から離れ、学習に専念できる環境で授業・自学自習・仲 学習集団としての意識を高めつつ、進路実現に向 姿勢」の成長

るための大切な要素だからである。 勢を生徒に示し、かつ合宿に向かう意識を整えることが、合宿の効果を上げ ステージ週間初日、体育館にて結団式を行なった。もとより引率職員の姿

四六名(途中合流者含む)、引率職員八名という体制で勉強合宿がスタートした。 二日目朝、 会場入り直後に、ホテルの支配人に立ち会ってい バス四台体制で志賀高原のホテルホゥルス志賀に向かう。生徒

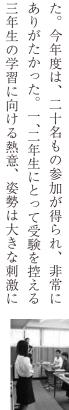
強く感謝を覚えた。 いただいた。これもまた先輩方の真摯な取り組み トさせていただきます」という温かな言葉がけを 謝しています。スタッフ一同、力を尽くしてサポー という思いがあるようだ。「毎年来ていただいて感 しており、ホテルの側でも「この時期は上田西高校」 ただき、開校式を行なった。ここ数年、会場が固定 恵まれた環境で実施できることに



自習の様子

組まれており、全く参加がなかった年が大半であっ る。例年、三学年特進コースは同時期に進学補習が ありがたかった。一、二年生にとって受験を控える た。今年度は、二十名もの参加が得られ、非常に 点は、三学年特進コースの参加が得られたことであ 今年度の勉強合宿における例年との大きな相違

卒業生による進路講話



であることを直接目で見て実感できることは、連帯感を高めることにも繋が なる上に、自分たちを見つめ直す契機にもなる。またこの合宿が本校の伝統

それが一、二年生に伝播した部分は大きかったと感じる。 になった。実際、 れた。それが日を追うにつれて、集中力の持続がハッキリと見て取れるよう る。それが顕著に見られたのは、 自学自習である。不慣れな一年生の中には集中力を欠く者の姿も若干名見ら 合宿初日、まず自習時間がある。一時間以上バスに揺られ、食事のあとの 自習に向かう三年生の中に、時間をもてあます者は皆無で 自習時の取り組みであった。

チューターで参加した卒業生の講話、二年特進コースについては、ホテルス じて、担任、教科担任の裁量にお任せした。 タッフの方を前に、修学旅行プレゼン予行を行なうなど、クラスの実情に応 授業については、 例年通りの進行を見た。各先生方の取り組みのほか、

その一助となる今回の合宿であったのなら、 は難しいのだが、生徒からのコメントに「皆頑張っていると思うと、自分も 凝らし、西高らしい、他ではできない合宿を実現していくことを切に願う。 る精神を大切にしながら、より内容の充実したものになるように創意工夫を 向けて、資するものがあったと感じている。次年度以降、 とおもった」などの言葉が並んでいるのを目にし、彼ら彼女らの進路実現に 帰路につくことが出来た。引率責任者として、今回の合宿について自己採点 た」「まだ最低限のことしか出来ていないので、プラスアルファをやりたい 頑張ることが出来た」「夜遅くまで先輩たちが勉強している姿が印象に残っ 体調不良による下山も少数ではあるが出たが、ほぼ全員が全日程を消化し、 大変嬉しく思う。 基本に貫かれてい

# シンガポール修学旅行

## 一学年会

## ○はじめに

目に事前学習をテーマ別に行い、実際に現地で見学体験学習を通し、その違 英会話による事前準備、交流当日の発表に繋ぐことができたと感じる。二つ マに学習を進めた。 いや格差を学ぶという内容である。一・二組は「水」、三・四組は「統合型リ 会話を学び、 オによるマンツーマン英会話レッスンである。生徒一人ひとりのペースで英 ランを検討して実行した。まず一つ目に四技能の強化を目的としたウェブリ つ、新たな可能性や時代のニーズにあわせた様々な可能性を視野に入れたプ ソート(IR)」、五・六・七組は「多民族共生」、八組は「英語力向上」をテー 今年で二年目となるシンガポール修学旅行。二学年では初年度を踏襲しつ 交流校とのビデオセッションに備えた。 個人で差はあったが、

修学旅行の目的として二学年では以下の四点を旅行の目的として設定した。

- 21 英語の四技能のうちの聴く力と話す力の向上 シンガポールを題材とした、アジア起点のグローバルな視点の獲得
- 学校交流を中心に積極的に英会話を実践 交流学校 下EF))で、ウェブリオ、ビデオセッションの事前学習をいか交流学校(カプラン・EF(エデュケーション・ファースト※以 したプレゼンテーションの実施
- シンガポール及びマレーシアのジョホールバル地区の理解

3

- ・学習のポイント シンガポールの水問題 インテグレートリゾートについて
- 多民族共生

日本そして私たちの住む地域と比較しつつ考える。

4 集団行動の修得

ルーム長会を中心にスケジュール通りに進むよう、 分前行動)と正確な点呼の実施 時間厳守  $\widehat{+}$ 

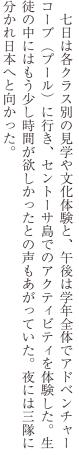
## ○日程について

る、とてもハードな日程となっ 翌日の学校交流校へ直接合流 なした。 たが、予定通りにその日程をこ 最終便の生徒たちは機内泊から 編成でシンガポールを目指した。 の大会により本隊に合流できな 出発し、成田及び羽田へと向かっ い生徒をまとめた一隊の計四隊 た。この三隊とは別に、部活動 十一月四日 の三隊に分け西上田駅前を 十時三十分出発の六・七・八 九時出発の三・四・ (日) 七時三十分出

予定していたものと多少変更等 クラス)にて学校交流を行った。 五日はカプランとEF (特進

はあったものの、これまで準備してきた学習内容のまとめをすることができ た。午後は担当の学生とともに、班ごとに街歩き(B&S)を行った。

国境の水道管やマレーシア地域とシンガポール地域の違いを見ることができ ないかと推察する。またマレーシアへの陸路による出入国の体験を行った。 と実際に目にしたものとを比べ、違いや格差などを学ぶことができたのでは 六日は各学習テーマに分かれ見学体験学習が行われた。学習してきたこと



この五日間は、大変内容の濃いものであり、充実した有意義な修学旅行に 萩原 敬士

以上

旅行係



MBS & マーライオンでの記念撮影

## ○学校交流のまとめ

交流校について

機会を持てたことは教員間の意識づけに大いに役立ったと感じる。 とってもメリットがあるような交流内容が決められた。また、二月にカプラ れ自国の文化を発表する場を設けることなど、それぞれの学校の学生たちに ンターナショナルフェスティバル」を行い、語学学校に在籍する学生それぞ ンを行うことでテーマに対する考えを深める機会にすること、EFでは「イ 前に話し合いが行われた。カプランでは、学習テーマを設定しディスカッショ 逆に、普段から多文化に接している現地の学生にとって、「日本人に接する のも多民族が共生する国だが、多国籍の生徒が在籍する語学学校との交流で スを学びたい学生たちが集まってきている学校である。シンガポールそのも ポール人が通う学校というよりは、世界中からシンガポールで英語やビジネ スト)であった。カプランもEFも語学学校という位置づけであり、 ンの先生方が来校され、学年の先生方と事前に交流内容について話し合いの 交流内容にするために、事前(一年次冬)に現地校やコーディネーターと事 しいと言われるのはその点である。そこで、お互いにメリットがあるような こと」だけでは新鮮な学びにならないことだ。シンガポールで学校交流が難 一つの国=一つの言語、文化ではないということを実感しやすい。課題は、 交流先は昨年に引き続きカプラン、そしてEF(エデュケーション・ファー 、シンガ

事前学習について

実施内容(カプラン)

- 子う。デオセッションを四回アゴヤセッションを四回レビ電話をつなぎ、ビーをでいる。
- 十回を行う。 ・オンラインマンツーマ
- 作成し、英訳する。「IR」「多文化共生」に沿ったパワーポイントーションをがいていました。」に、近に、英訳する。
- 実施内容 (EF) 3サイズ) する。(一回) ターを作成し交換 (A
- パワーポイント)を作成。化に関するプレゼン・班ごとに英語で日本文
- ・オンラインリスニングテストの実施
- 東京EFの外国人講師を招いて模擬授業を実施。

## 成果と課題(カプラン)

クのヘッドセット設置など全面的に協力していただき、学年の先生方も英語に新しいソフトをダウンロードすること、通信状況の確認、イヤホンとマイと、教務係には、ビデオセッションのための変則時間割作成と変則の教科担た。教務係には、ビデオセッションのための変則時間割作成と変則の教科担た。教務係には、ビデオセッションのための変則時間割作成と変則の教科担た。教務係には、ビデオセッションのための変則時間割作成と変則の教科担た。教務係には、ビデオセッションとマンツーマン英会話を実施す実際にテレビ電話を使ったビデオセッションとマンツーマン英会話を実施すまるかであった。事前学習の内容決定までは比較的スムーズに行えたが、整えるかであった。事前学習の内容決定までは比較的スムーズに行えたが、カプラン訪問クラスの事前学習の最大の課題は、通信を含む環境をいかにカプラン訪問クラスの事前学習の最大の課題は、通信を含む環境をいかに



街あるき(B & S)の様子

みたこと自体が大きな成果で えないが、とりあえずやって とは大きな成果である。そし 解と協力も必須であった。新 費用の徴収もあり保護者の理 もあった。またそれに関わる セッションを行う場面が何回 科の先生方も生徒に教える前 最初から大成功だったとはい 年主任主導で関係各所の多大 さまざまな困難があるが、学 つきっきりで英会話とビデオ で英語の教科担二名と担任が 実施に当たっては、慣れるま なければならなかった。また に自分達が新しいことを習わ て、この新しい試みが決して な協力を得ることができたこ しいことを形にするためには



ウェブリオでの学習を進める生徒たち

りやすく説明したサイトがあったので引用させてもらう。 という考え方が注目されている。以下、トライアル&エラーの考え方をわか あるとも感じている。昨今ビジネス界では【トライアル・アンド・エラー】

なものに近付いていく。(引用終わり) きが置かれている。繰り返し繰り返し改善を重ねることで、物事はより完璧 方では、まず行動を起こし、そこから見える修正点を修復していくことに重 【トライアル・アンド・エラー】直訳すると試行錯誤であるが、現在の考え |働き方と天職を考えるウェブマガジン「瓦版」ワークスタイル用語集|

来年度の事前学習が今年度より成功したときに初めて、今年度の事前学習の 本当の評価がなされるのだと思う。 も前進できたと感じている。また、来年度の先生方に成果や課題を引き継ぎ い」という学年主任の強い気持ちと行動力があったので、試行錯誤しながら 新しいことに挑戦するにあたり、このような「やってみなければわからな

考えられるとよい。 続き必要である。ビデオセッションでどんなことを話したいか、 ○ビデオセッションは時間割変更などで学校全体の負担が大きすぎた。 一年目であったが、 成果と課題(EF)

以下、

良い。長野県での導入はまだ少なく、有線での環境が整っている本校の教育

○マンツーマンのオンライン英会話は画期的であり生徒達の評判もおおむね

事前学習(カプラン)に関する申し送り事項である。

環境を最大限に生かす試みである。来年度も継続してほしい。

現地との通話をもう少しスムーズにつなげる工夫が引き

生徒たちが

り難しい部分があった。一クラスだけ違う動きだったので、 模擬授業のイメージを持つことができた。一方、リスニングテストによるレ 当日の交流内容を決定した。事前学習では、特に東京EFから外国人講師の 日本人のコーディネーターに間に入っていただき、こちらの要望や事前学習 し合われることが少なく目が行き届かないこともあった。 ベル別のクラス分けなど、昨年に引き続き行ったものもEFの担当者が変わ 方を招き模擬授業を実施したことで、生徒たちはEFに関する理解や当日の EF訪問クラスの事前学習については、東京EFにて打ち合わせを行った。 学年会の場で話

事前学習(EF)に関する申し送り事項は

○交流先が二校以上になるときには、 がうまれるので、校内の交流担当者を二名配置するべきである。 事前学習も別なものを実施するケース

交流当日について モーニングティーブレイク 班ごとプレゼンテーションの練習 実施内容(カプラン)

プレゼンテーション実施

\* 終 日、 班ごとの街歩きと昼食 各班、 カプランの学生リーダ(一名~二名)に付いてもらった。

成果と課題(カプラン)

手振り、 だと思う。 ら、生徒たちは「もっと英語で自由に話したい」という気持ちを持つことが 全員がカプランの学生と話す機会を持つことができた。片言の英語と身振り 対して一名~二名のカプランの学生リーダーが一緒に行動してくれたことで できた。 一番の成果は、カプランの学生リーダーと会話する時間を長く持てたこと スマホの翻訳などさまざまな手段を使って意思疎通を図った経験か 朝のプレゼンテーションから夕方五時の集合まで班員六~七名に

は成果である。 とめることができていた。このような大きな発表会を持つことができたこと ても各クラスのテーマに沿って班ごとに深め、工夫してパワーポイントにま 稿を片手に英語を読む練習をしている姿があちこちで見られた。内容に関し 話す経験ができたことが素晴らしかったと思う。プレゼンの朝、自主的に原 プレゼンテーションに関しては、まずは、学年全員が人前に立って英語を

昼食と街歩きに関しては班ごとにバラつきはあるものの概ね好評であった

みながら写真を撮る姿が ランの学生と別れを惜し 所のレストランではカプ ことができた。再集合場 楽しみ、シンガポールの やホーカーズでの食事を ディア、アラブストリー は特別な経験だったよう 中を案内してもらえるの と言える。小回りの利く さまざまな文化に触れる トなどの露店での買い物 人数で希望に応じて街の 中華街やリトルイン

実施内容 (EF) その後現地生徒が各 ベル別授業を体験。



カプランでのプレゼンテーション準備風景

ブースにて行なう発表を聞きインタ

テストを行なう。→実施できず。 ンテーションを行なう。 ③自分たちが事前に準備したプレゼ 式の後、 ⑤EF帰校後、表彰を行ない、 ④街歩きをし(B&S)、フォト 夕食会場に向かう。 閉校 コン

後は予定していた街歩きは時間の都ナルな雰囲気に浸ることができた。午 合で実施できなかったがEF生徒と 話す時間も設けられ、インターナショ 世界各国から来ている学生と自由に 高い授業が受けられたことだ。また、 展開する英語の語学学校に行き質の Е F訪問での一番の成果は、 世界

的に英語を学ぶことができた。 パーティー形式で取ることができ、明るく開放的な環境で楽しみながら実践 のレクリエーションの時間を持つことができた。昼食も建物の屋上を使った

EF、カプランに共通している今後の課題は、現地校との意思疎通である。

当日の進行が打ち合わせ通りにいかないことが多い。今回はその場で交渉を ○現地校の担当者、コーディネーター、 ○日程や班分けの方法をなるべくシンプルにして混乱や誤解をさける。 申し送り事項としては以下の点があげられる。 合わせ通りに行えるように工夫していく必要がある。 したり、担当者の判断で対応したりしてトラブルに対処したがなるべく打ち を共有し動きを確認する時間を取る。 学年の担当者、旅行社の四者で情報 特に二校に分かれる場合手薄になら

○学校間の理解に差がないよう、 打ち合わせの後に内容をまとめ双方で確認

ないよう人員配置する。



修学旅行カプランでのプレゼンテーション

الح

ランやEFの学生と話すことで互いの文化の相違点を感じられていたら、そ ションを行うことができ、全員が英語で発表できたことは収穫であり、 の一つだ。さまざまな困難はあったが各班でテーマに沿ったプレゼンテー が今後の学習につながることを期待する。学校交流は海外修学旅行のメイン ればよかった」という気持ちを表しているのではないかと思う。その気持ち ない、事後学習のレポートで自分が感じたことをどれだけ言語化させられる 学旅行での経験をレポートにまとめている。「楽しかった」だけで終わらせ れがグローバルな視点の獲得と言えるのではないだろうか。生徒達は今、修 ても」と答えた生徒より、「少しは」と答えた生徒が多いのは、「もっと話せ そのほか関わったすべての皆様に感謝申し上げます。 か、この学年の修学旅行の最後のチャレンジである。修学旅行のまとめにあ たりするが、現地で学校交流があると話さざるを得ない状況が生まれる。「と た。観光で行っていたら誰かに任せて自分が話さなかったり、日本語が通じ に、「とても」と「少しは」を合わせると七十三パーセントがYESの回答だっ 修学旅行後の生徒アンケートで「英語での交流ができましたか?」の問 旅行業者、現地校の先生方、学年の先生方、保護者の皆さま、 生徒達、

以上 交流係 山口 裕恵)

## ノーマ別学習について

「水」に関する学習に取り組んだのは一、二組であった。五月三十一日学年る学習の取り組みに関して主に報告をすることとしたい。ントによる発表で学年全体で共有する形をとった。ここでは、「水」に関す民族共生」に関して学習を行い、最終的には事前学習の内容を、パワーポイー修学旅行の学習は、クラス別に「水」「インテグラルリゾート(以下IR)」「多

をするのに微生物を用いていることを学習した。浄化する過程を見学した。この時に汚水が如何なるものかと言うことと浄化行事の午後、二クラスで上田市の南部クリーンパークの見学を行い、汚水を「水」に関する学習に取り組んだのは一、二組であった。五月三十一日学年

出し、海水から真水を生産する方法と合わせて、二〇六〇年までに水を自ある。そんな中シンガポール政府は、汚水を再度飲み水にする方法を考え降のマレーシアからの水の供給に関しては目途が立っていないのが現状で隣国マレーシアからの水輸入に頼っていた時期が長い。しかし二〇六〇年以下シンガポールは、国土が狭い上に平地であるので、水資源に乏しいため、

総できるように進め たちにニューウォーターと 言う。四月当初生徒 にニューウォーターと をりの話をしたら、多 が飲めるの」と言う 水飲めるの」と言う 水飲めるの」と言う

一組では、西高祭のカラス企画でタピカカドリンクを作りオカドリンクを作りた。その中で生徒たちた。その中で生徒たちから修学旅行の事前から修学旅行の事前とになった。ニューとになった。ニューとになった。



グリーンパーク上田見学

の理解も進んだ。たれ行きは上々であったし、生徒たちの飲料水としてのニューウォータウォーターを空輸し、凍らせて希望者には、ドリンクの中へ入れて販売をし

された。 て認識を新たにした。この取材は、一人一レポートの形式で夏休み明け提出て認識を新たにした。この取材は、一人一レポートの形式で夏休み明け提出ム、用水路、湧水などを調べ普段何気なく見ている、水に関する場所につい 夏休みは、身の回りの水に関連する場所の取材を各自行った。ため池やダ

ることに驚く班や、本校の野球場の散水や噴水が雨水を利用していることを題に関して理解を深めた。ダムやため池とマリーナベイが同じ働きをしていの中で、両国を比較し、日本の水の質の良さと豊富さ、シンガポールの水問のレポートを基にパワーポイントを使用したプレゼンの準備が行われた。そンパーク見学や西高祭で調べたニューウォーターに関する知識そして夏休みンパーク見け、旅行に向けて本格的な事前学習が開始された。各班ごとグリー夏休み明け、旅行に向けて本格的な事前学習が開始された。各班ごとグリー

班も出てきた。 のはシンガポールだけ り雨 水を利 用してい で

はマレーシア産であった。 持っていた。なおこの水 気にするほど水に関心を たちは生産地がどこかと ミネラルウォーター。生 にバスの中で配布された シンガポール到着後すぐ そして迎えた修学旅行 ニューウォータービジ

のような感想が得られた。 ら見学をした。そして次 つ英語の説明を聞きなが リーンパークと比較しつ 生徒たちは上田市のグ 九時からの見学となった。 事にとれて十一月六日の ターセンターの予約が無



にして飲むというシンガポールの人たちの強さとたくましさに感動しま 飲み水がなければ作ればいいと思って、それを本当にやってしまうシ 汚染された水をニューウォーターに変える技術を知り、 排水を飲料水

考える良いきっかけとなったことが編集された冊子からわかった。MBSと

り楽しみつつ、事前学習を踏まえ観光客を増やすための工夫を感じ取ること 同じIRのリゾートワールドセントーサ(RWS)では、レジャーを思いき S)でカジノの中を入り口から垣間見た。今わが国、日本でも話題となって

いるカジノ。実際にそのカジノを見て、カジノをはじめとするIRについて

上から見学する機会を得た。その他のクラスも、マリーナベイサンズ(MB

「水」同様に行われた。IRの学習を進めたクラスは、 さて他の二つの学習テーマについても少々ふれたい。

実際にカジノ全体を 出発までの学習は、

献していることがわかった。 成の物も使われていることがわかり、 ウォーターでは、繊維を使っている。またこの繊維の技術は日本の旭化 上田市グリーンパークは、微生物によって水を浄化しているが、ニュー 日本もシンガポールの水問題に貢

きるものだと感じました。

ンガポールの人たちのアイディアや行動力は、とても素晴らしく感動で

ができた生徒もいるようだ。

続くマレーシアとの国境の行き来もヒンズー教の新年を祝う祭りであるデ パバリの日であったためか、スムーズに進み、バス内では撮影も許され

を見た。様々な民族の人々が、互いを尊重しつつ公用語は英語で生活する姿

実際にイスラム教徒が礼拝をする様子

クラスは、インドの宗教や文化そして習俗を目の当たりにする貴重な経験を いう新年を祝うお祭りの日で、五日、六日とリトルインディアを訪れた班や

多民族共生に関する学習では、十一月五日がヒンズー教のディーパバリと

した。またアラブ人街のモスクでは、

から生徒たちは、何か感じ取ることができたようだ。



感じたようである。 旅行後、ある生徒からは「シンガポー

があったようである。 能にする国ですね」という言が得られ ルは、不可能と言われていることを可 マと共に旅行後、学習のまとめとして編集されこれを見ると一定の学習効果 た。「水」に関する学習の成果は、他テー



ことができた。百聞は一見に如かずの ラの鑑賞と翌日七日、マーライオンで はずである。マリーナベイへは、 三本の巨大な水道管をし ながら、シンガポールに対して凄味を たちは、美しい風景やショーを満喫し 水にした広大なマリーナベイやその真 の写真撮影のために行った。海水を真 水を利用したスペクトラを見て、 五日の夜のウォーターショー 生徒たちは何かを感じた っかりと見る スペクト 生徒 前 シンガポール国境の水道管

以上でテーマ別学習に関する報 としたグローバルな視点の獲得\_ 告を終わりたい。 につながっていれば幸いである。 行の目的である「アジアを起点 さて、これらの取り組みが旅

学年主任

## ○ルーム長会の取り組みについて

年の修学旅行とは少し違い、自 思う。今年度のルーム長会は例 主規律等の作成の他、 まとめて振り返っていきたいと ム長会が取り組んできたことを に行くにあたって二学年のルー 今年度、シンガポール修学旅行 学習の要



ディーパバリでにぎわうリトルインディア

の学習を主導し、シンガポールがどのような国で、どういったことを重視し の文化、 ているのか、日本とは異なり様々な文化、人種が混合している中でそれぞれ 素を重視した。具体的にいうと、ルーム長会がシンガポールについての事前 人種がどのように共生しているのか、などを全体で共有出来るよう

間が設定されている。それを守れなかった場合、予定していたことの再調整 り組みを踏まえた上で「規律を守り、みんなで楽しい修学旅行を作ろう」と 付ける」をコンセプトに実施した。今回の修学旅行は、こういった昨年の取 責任を感じてもらうことが狙いだった。 てしまうということもありえる」ということがあった。一人ひとりに自覚と をする必要が出てきてしまう。最悪の場合、予定していたことができなくなっ 行は全体の行程(時間) いう目標にルーム長会で決まった。この目標が決まった背景には、「修学旅 まずは、ルーム長会としての修学旅行の目標決めについて振り返る。 校外学習では「クラスメイトと仲良くなる」「集団行動を身に がすでに決まっていて、一つの目的地につき滞在時

今年の二学年ルーム長会は、三つの班を作り、 修学旅行の事前学習を主導し、 しおりにその成果を編集した「冊 自主規律を作成する「自主

> とって、大きな財産となっただろう。 成された自主規律は前述したように時間をしっかりと守ること、ホテルで る「集会運営班」に分けて仕事を分担したが、この をルールを設定して実行したことは、その運営を行ったルーム長会の生徒に 学、そして今回のシンガポール修学旅行と二年をかけて学年での大きな行事 行った上田市内のオリエンテーリング、校外学習で行った東京都内の大学見 れたが、全体の行程に影響が出るようなことはなかった。昨年の学年行事で については、残念ながら時間を守ることが徹底できなかった場面も見受けら 長会で決定した修学旅行の目標を達成できるような自主規律を作成した。作 しっかりマナーを守ること、携帯電話の使用方法などを規定した。自主規律 学習の成果を学年で発表し、共有するための学年集会を運営す 「自主規律班」がルーム

二組が水について、三、四組がIRについて、五、六、七組が多文化共生につ テーマは学年会で決定し、まずはルーム長会の冊子編集の担当の生徒が、一、 マの具体的な内容についても触れていく。 いて、八組がシンガポールの観光についてそれぞれまとめた。それぞれのテー 次に今回の修学旅行で一番力を入れた事前学習について振り返る。学習の

ターという下水を濾過して生産される水も開発されている。 学旅行はマレーシアジョホールバル地区にも行ったため、 のようにいかない。大部分をマレーシアからの輸入に頼っている。今回の修 ることで、改めて からシンガポールへ伸びる巨大な水道管を見ることができた。ニューウォー のように蛇口をひねれば水を得ることができる。しかし、 まず、一、二組がテーマとした水であるが、日本で生きる我々は当たり前 国境でマレーシア シンガポールはそ 水問題を学習す

略称:IR)のこ Integrated Resort IRとは、 をテーマとした。 さを確認できたは る状況のありがた 三、四組はIR (英称: 統合型



学習発表会でテ にとる生徒たち

できたのではないかと思う。 日本への導入の是非についてもシンガポールのIRの現状と比較することが現在日本でもこのカジノを含めたIR構想が持ち上がり、議論が進んでいる。シンガポールはこのIRで観光客を集めることに成功している。そして、ツ施設、温浴施設などと一体になった複合観光集客施設のことでカジノも含ピングモール)、レストラン、劇場・映画館、アミューズメントパーク、スポーとだ。国際会議場・展示施設などの MICE 施設、ホテル、商業施設(ショッとだ。国際会議場・展示施設などの

ことは貴重な経験となったはずである。

立さいのである。

立さいが、その小さな国土にさまざまなバックグラウンドを持つ人々すると小さいが、その小さな国土にさまざまなバックグラウンドを持つ人々ができた。特にシンガポールは多民族、多言語の国家だ。国土は日本と比較ができた。特にシンガポールは多民族、多言語の国家だ。国土は日本と比較ができた。特にシンガポールは多民族、多言語の国家だ。国土は日本と比較ができた。特にシンガポールは多民族、多言語の国家だ。国土は日本と比較ができた。特にシンガポールは多民族、多言語の国家だ。国土は日本と比較ができた。特にシンガポールは多民族、多言語の国家だ。国土は日本の工作の主なのできた。

て知識を仕入れることができた生徒もいただろう。たとは思うが、よく調べ、まとめてくれた。これによりシンガポールについが必要だ。八組の担当生徒は当然一度もシンガポールに行ったことはなかって、基本的には一度も行ったことがない土地について知るためには、ガイド、利組は観光(シンガポールの見所)についてまとめた。下見の教員を除い

以上のように今年度の二学年ルーム長会は、修学旅行に向けて、シンガポーム長会にとっても非常に有意義な修学旅行であった。といても非常に有意義な修学旅行であった。以上のように今年度の二学年ルーム長会は、修学旅行に向けて、シンガポーム上のように今年度の二学年ルーム長会は、修学旅行に向けて、シンガポーム上のように今年度の二学年ルーム長会は、修学旅行に向けて、シンガポーム

まとめが期待できる状況である。を中心に進められている。生徒たちの手によるしっかりとした内容の学習のポイントによるまとめを含めて、旅行後の学習のまとめの編集がルーム長会に掲載し学習のためのガイドブック的な役割をはたした。また、各班のパワーなお、事前学習のまとめは、各クラスの正副ルーム長より行われ、しおり

(以上 ルーム長会指導担当 山浦 天)

## ○まとめ

られるのはウェブリオによる 度からプランニングすること ワーポイントによる事前学習 オセッションでは少なからず を提供できたことであり、 ンで四技能の強化を図る手段 ができた。成果としてはあげ 能性を視野に入れ、様々な角 の案を踏襲しつつも新たな可 れたとおりであるが、昨年度 いかと考える。その上で、パ いては様々ではあるが、ビデ つまた生徒の到達度などにつ マンツーマンの英会話レッス 旅行であったが、冒頭でも触 一定の効果はあったのではな 二年目のシンガポール修学



学習発表会での各クラス代表班による発表の様子

たと感じる。 英語による発表を全ての班で実施できたことも生徒にとって良い経験になっ上が図れたもしくは、その十分なきっかけとなったと感じる。現地においてまとめや発表会を行ったことにより、プレゼンテーション能力や英語力の向

あったとまとめたい。アンケートでも生徒保護者共に満足度九割を超え、満アジア起点のグローバルな視点の獲得につながる充実した有意義な旅行でバート」「多民族共生」に関しての学習効果もあり、シンガポールを題材とし、旅行全体としては、下見の段階より綿密に計画した内容がうまく反映され旅行全体としては、下見の段階より綿密に計画した内容がうまく反映されが、また外間で感じたようである。また、食文化体験で日本とシンガポールの食文化を肌で感じたようである。また、食文化体験で日本とシンガポールの食文化を肌で感じたようである。また、食文化体験で日本とシンガポールの食文化を肌で感じたようである。また、食文化体験で日本とシンガポールの食文化を肌で感じたようである。また、食文化体験で日本とシンガポールの食文化を肌で感じたようである。

(以上 旅行係 萩原 敬士)

足のいく旅行であったのではないかといえる

## 新 聞 取 り組 み

新聞委員会顧問 山 浦

天

でこの四年間の実践と成果について書いていきたいと思う。 この四年間で様々なことに取り組んできた。今回こういった機会を頂いたの 田西高校に赴任し新聞委員会の顧問となり四年が経過しようとしている。

と言われたくないと強く思うようになった。 自分の中で「宮坂先生がいなくなって上田西の新聞全然ダメになったよね\_ 外にでることは面倒だと思ったが、加盟だけはすることにした。外に出ると、 新聞委員長が残っていたことである。まずはこの委員長と新聞作りを行った。 坂先生とは入れ違いだったため、引き継ぎなどは一切できなかった。唯一助前任の宮坂正議先生(現松本県ケ丘高校教諭)を引き継いだわけだが、宮 上田西高校新聞委員会が築き上げてきた実績のすごさを痛感する機会が多く、 しばらくして専門部への加入のお誘いが来た。正直そういったものに加盟し かったことは、宮坂先生の指導を受け、新聞作りについて訓練された優秀な

が遅くなってしまった。幸い、新聞作りへの取り組みについては、 ものを作るために、遅くまで学校で作業をすることが増え、生徒の帰宅時間 問題も出てきた。委員長、副委員長への負担の増加という問題である。良い り考え、内容、見出し等にも工夫を加えたものとなった。質の向上に伴って 四十七号の西高祭の記事は、それまでの記事とは違ってレイアウトをしっか とで自分の中でなにかが変わった。昨年度の九月一日に発行された千西一遇 く、実力で全国大会出場を果たしたわけではなかったが、全国を経験したこ れて行ったことである。昨年行われた信州総文祭の視察の意味合いが大き転機は二〇一七年の夏に宮城で行われた全国総文祭に生徒を引率して連 を増やし、一人当たりの負担を軽減できないかと考え始めた。 長のご家庭にはご理解いただいていたが、この頃から新聞制作に携わる人数 歴代委員

ダメだと考え、こちらから声をかけた。そして、一年生(現二年生)のメンバー 自発的に作りたいと考え委員会に所属する生徒はおらず、受け身のままでは 構築から着手した。新聞委員会は各クラスより必ず二名を選出する。 も考えた。その結果がスポーツ紙面の充実というものである。まずは、組織 「どうやって他にはない独自性を打ち出していくか」ということ

> さらにもう二名を加えた十名で、新聞制作を専門に行う「編集局」が誕生し ることができ、より一層スポーツ観戦を楽しめるようになっている。この要 スポーツに特化した新聞作りをサークルが行なっている。特に伝統ある試合 た。また、参考としたのが大学スポーツである。母校も含めて多くの大学で 素を取り入れたいと思った。 面にして配布しており、 の日には会場でその日の試合の展望、両校の戦力分析など充実した記事を紙 を六名揃えることできた。この六名と二年生(現三年生)の正副委員長二名 あまり知識がないファンもある程度の情報を仕入れ

とがなかった。しかし注目が集まる大会に密着し、結果を個人にフォーカス カー部の選手権が始まろうとしていた。これまで、スポーツの記事に関して によって大会結果にいい影響を与える」というものである。時期的に、サッ 見逃さない。「写真で勝負をするのは面白いかもしれない」と直感した。と 撮れないよ」と話しかけてきたそうだ。そして自身が持参していた高性能力 ラマンが新聞委員の持参したカメラを見て、「そんなカメラではいい写真は 準決勝を取材した際にアルウィンのピッチに生徒を入れさせてもらい、写真 スの向上につながればいいと考えていた。また、報道が世論を煽ることによっ 質は決して高いといえるものではなく、サッカーの記事は一度も作成したこ 軟式野球部の全国大会について発行してきたが、甲子園出場の号外を除き、 は、二〇一五年の甲子園出場を決めた号外、その甲子園での初勝利の記事、 試合会場に毎回足を運ぶ熱心な西高生に声をかけ、仲間になってもらった。 徒の私物で高性能のカメラを持っている子に声をかける作戦を思いついた。 はいっても高性能のカメラは、数十万円は下らない高額なものだ。そこで生 全国大会出場へ学校全体の機運を高めようとすることも狙った。 して特集することで、そのことがモチベーションとなり選手のパフォーマン 大きなクオリティーの差を感じた。やはり高性能のカメラは決定的な瞬間を メラを貸していただいたのである。そうして撮影された写真を見たときに、 の撮影をさせて頂いたのだが、同じくピッチ上で撮影をしていたプロのカメ メラが三台あったが物足りなかった。昨年度のサッカー部の選手権長野大会 で、写真についてだけみれば、つけいる隙はあると感じていた。学校にはカ クトのある写真を使用しようと考えた。全国の高校が発行する新聞を見た上 徐々に環境が整っていく中で新聞作りの狙いも明確になってきた。「新聞 次に、写真について環境を整えた。より読者を惹きつけるために、インパ 大きな力が発生することは歴史を考えれば明らかなことで、 サッカー部 新聞により

部の白尾監督が「埼玉スタジアムに行けば人生が変わる」と言っていた。応 聞作りに取り組む生徒には常にこの四つを目指させたいと考える。サッカー 日程的にも辛いものがあり、年末年始の忙しい時期にほぼ毎日朝早くから、 までを振り返り、平均失点を出し、全国大会の展望を、チーム戦術を分析し が、なんとか間に合い、駆け付けた保護者や関係者に配布した。この時、配 部の学校凱旋に合わせ、号外を発行するためである。時間との闘いであった 試合終了と同時に編集担当の生徒を連れて、すぐに学校へ戻った。サッカー りの全国大会出場を決めた。長野県予選決勝には五名の編集局員を帯同させ は編集局が取材を開始した準々決勝からも順調に勝ち進み、見事に十二年ぶ 六枚にわたる充実した特集が完成した。 ちが勝利に貢献する役割を果たしたと自負をしている。 を積んできたサッカー部の努力の賜物であるのだが、微力ではあるが自分た 玉スタジアムの記者席に入った生徒はこの経験を一生忘れることはないと思 援に駆け付けた生徒もたくさんいたが、取材(仕事)として携わり、 すものを毎回作り出すのは簡単なことではない。しかし、縁あって一緒に新 を選択するには勇気がいる」と書き残している。確かにこの四つを常に満た カーの引用であるのだが、ドラッガーは「優先順位についてのこれらの基準 易なものではなく変革」「内部ではなく外部」の四つである。この言葉はドラッ 去ではなく未来」「問題ではなく機会」「横並びではなく独自性」「無難で容 うちに出発し、夜暗くなって帰宅していた昨年の年始が今となっては懐かしい。 しかったと思うが、とにかく生徒に「全国」を経験させたかった。朝、 夜遅くまで生徒を帯同させることに関しては申し訳なく思った。体力的に厳 訪問などにも生徒を派遣した。全国大会にも、開会式から生徒を派遣した。 作った。白尾監督を初めサッカー部の選手達が快く取材を引き受けてくれた 布に携わった編集局員が、号外新聞を渡した保護者からの「ありがとう」と ゴールは今も強く印象に残っている。サッカー部の躍進は当然、厳しい練習 ことに感謝している。この後も真田神社への絵馬奉納、 た上で記事にし、マネージャーから見たチームの状態などを特集する紙面を いう言葉で、「いい仕事をしたなと思った」と話していたことが印象的である。 自分が、新聞作りに取り組む際に意識していることがある。それは、「過 自分自身も準決勝の前橋育英戦で、目の前で見た上田西のエース根本の 特に積極的に活動をしてくれる編集局員を中心に、初戦から決勝 知事、市長への表敬 全国大会終了後には 特に埼 暗い

らせた。

今年度は同じ狙いで硬式野球部の夏の選手権に公欠をもらい密着取材を

二〇一八年は新聞委員会にとって飛躍の一年であったと思う。前述したたとき、自分たちが間違ってなかったことの証明であると感じ嬉しかった。ツの戦評などは各社、主観が入ったものになる。同じものを見ても感じるこツの戦評などは各社、主観が入ったものになる。同じものを見ても感じるこツの戦評などは各社、主観が入ったものになる。同じものを見ても感じるこツで、新聞社も多くの紙面を割き、報道している。各種雑誌も大会展望からツで、新聞社も多くの紙面を割き、報道している。各種雑誌も大会展望からツで、新聞社も多くの紙面を割き、報道している。各種雑誌も大会展望から

の生徒を参加させ、運営にあたの生徒を参加させ、運営にあたいの生徒を参加させ、運営にあたいる。初の長野県開催となった全国所木選手ともに展示された。硬式野球部、軟式野球部の夏の活躍を特集した記事所木選手ともに展示された。硬式野球部、軟式野球部の夏の活躍を特集した記事が、発売では新聞部門で最も多くの生徒を参加させ、運営にあた

なく、 これまでの取り組みについては 思う。特に、長野高校、 もすでに三年生二人が新聞委員 は全員第一志望に合格し、 的に成長できるような機会を提 生との交流は刺激になるはずだ。 な価値観を身につけてほしいと している。学校にいるだけでは ている。これからも生徒が圧倒 確実に成果をあげていると感じ 校など県内トップレベルの高校 会での活動を生かし大学に合格 2全員第一志望に合格し、今年赴任してから歴代新聞委員長 積極的に校外に出て多様 屋代高



信州総文祭にて

# 学年学年行事・校外学習について

1学年R長会係担当 土屋 正明

## · 学年行事

名、副会長二名、書記三名、議長二名)を中心に目的・自主規律・活動中の名、副会長二名、書記三名、議長二名)を中心に目的・自主規律・活動中の大切なオリエンテーリングを行った。ただし、昨年度の反省点も生かしつ、今年は上田市だけではなくもう少し行動範囲を広げて各コースを設定しつ、今年は上田市だけではなくもう少し行動範囲を広げて各コースを設定しつ、今年は上田市だけではなくもう少し行動範囲を広げて各コースを設定しつだったので、良い時期だったと感じている。また、一年生の中では少しずるだったので、良い時期だったと言える。今年のR長会では、八役(会長ーろだったので、良い時期だったと言える。今年のR長会では、八役(会長ーろだったので、良い時期だったと高さないる場所を改めて知るというころだったので、良い時期だったと言える。今年のR長会では、八役(会長ーのクラス内において、仲の良い友人ができないる場所を改めて知るということや修学旅行に向けた班内で協力できる班別行動を養うといった意味でも

作業することができた。
に業することができた。
に業することができた。
に業することがの根案も吟味しながらのおいった。学年会からの指示・意見をしていった。学年会からの指示・意見を表していった。学年会からの指示・意見ので、

どがイメージできておらず、シミュレーとがイメージできておらず、シミュレーないことがある。一つ目は開会式であった。行事自体の内容に力を入れ過ぎてしまい、行事自体の内容に力を入れ過ぎてしまい、からのはが、



上田城チェックポイント

関連しているが、初めてとはいえ、シミュレー 関連しているが、初めてとはいえ、シミュレー 取りがあまり良くなかった。これも一つ目に 取りがあまり良くなかった。これも一つ目に 取りがあまり良くなかった。これも一つ目に 関連しているが、初めてとはいえ、シミュレー を対して言えることであるが、段 のと合性を通して言えることであるが、段 の目は全体を通して言えることであるが、段 の目は全体を通して言えることであるが、段 の目は全体を通して言えることであるが、段 の目は全体を通して言えることであるが、段 の目は全体を通して言えることであるが、段 の目は全体を通して言えることであるが、段 の目は全体を通して言えることであるが、段

度把握していた。その結果を踏まえて、 ション不足が際立ったものだったと個人的に感じている。 送れない班長がいた」、「もっと早く準備を進めるべきであった」、「下見をも 増やしていたが、考えは甘かったと感じている。 め各コースの下見に行かせることで、 を活かしていけるかが私自身の今後の課題と感じている。 に考え、重要視していきたい。そして、 徒たちの主体性を育めるような体制を整えていきたい。今後は予定よりも早 点を挙げることができていた。教員はあくまで主にサポートとして動き、 う少ししっかりやるべきだった」など、 しては、 く進んでしまった場合にも対応できるようなリスクマネージメントを念入り 「スマホのメール機能を理解していない生徒や通信制限でメールが ルートごとにかかる所要時間をある程 いかに来年度の修学旅行にこの経験 生徒たち自身がしっかりとした反省 当初よりもチェックポイントの数も 総括の際にR長会の意見と 生徒にはあらかじ



オリエンテーリング閉会式

## 二. 校外学習

た。今年は例年よりも少し大学を増やし、また、昨年度の反省点にもあった校外学習も昨年度と同様に、東京周辺の大学を中心とした大学見学を行っ

その中から班ごとで大学を選べるように対応した。その結果、今年生徒が選 があらかじめスタート地点から大学まで一時間以内で行ける大学を選別 時間の短縮を図るために大学到着までの時間を考慮した。したがって、 R長会で進めて決めたが、 動く実行力の育成および集団行動を通じた仲間との協調性・絆を深める」と じめ業者にお願いして事前に購入することで時間がかからないようにし、ま 川キャンパス)、東海大学(髙輪キャンパス)、日本経済大学、國學院大学であっ にキャリア意識の向上を目指し、また修学旅行に向けて班ごとで計画通りに た出発場所も川越駅とさいたま新都心駅の二か所から出発する形に変更した。 入にもかなりの時間を費やしてしまった。今年は、往路の切符だけはあらか た。また、東京に着いた際は昨年度においては全クラスが川越駅から班ごと ンパス)、拓殖大学(文京キャンパス)、東洋大学(白山キャンパス)、法政 んだ大学は、明治大学(和泉キャンパス)、帝京大学、早稲田大学(早稲田キャ に出発する形だったため、駅で混雑してしまっていた。そのため、 今回、 (市ヶ谷キャンパス)、慶応義塾大学 (信濃町キャンパス)、立正大学 校外学習の目的として、 終了後のアンケート結果からは校外学習に対して 「二年後の自分の進路に役立てられるよう 切符の購

会では、 さいたま新都心駅に予定より三十分以上 原因は班行動前の最後の集合場所である 班ごとに大学見学後は自由時間を設けて の協調性・絆を深めることも強調して 学見学後の自由時間が短すぎる」という の時間が予定よりも短くなってしまった い場所に行く時間であったが、当日はそ いた。班員同士で協力して各班が行きた ように今回の軸となっているが、仲間と 意見が多かった。この意見に対して学年 様々な意見があったが、 大学見学が目的にも挙げている 例としては「大

遅れたことである。

最初のさいたま新都



さいたま新都心駅 集合時

ともできず、大きな反省点だと個人的に感じている。旅行会社との打ち合わ 側の責任もあるため、 あったが、ほぼ全ての班が電車の時間からずれてしまった。この原因は教員 後の項目で、班員と協力できたかという答えには四十五班中三十八班が協力 または地盤をしっかりとしなければいけない。ただし、アンケート結果の最 せも入念に行い、教員側としては班ごとに考えさせた計画通りに行える環境 心駅から各大学(今年度は十五校)にそれぞれ近い駅に電車で向かう予定で もあるが、良い収穫だったのではないかと感じている。 できたと回答していた。この結果は次年度の修学旅行において、 生徒にわざわざ計画させたプラン通りに遂行させるこ クラス替え

うにR長会はバックアップができれば りが充実していて良かったと思えるよ 年の修学旅行では、ルーム長を中心と 束を深めることができたと感じた。来 習では大学見学をしたことで自身の進 と答えた。この理由として多かった意見は という大がかりなものとなったわけだが、アンケート結果のうち、 がその決定した案をサポートするよう 植え付けること、そして班員同士の結 路に対して考えるという種を頭の中に パーセントは進路を意識できたと答えた)の生徒は進路を意識できなかった で進路を意識することができたかどうかについては四十五班中十八班 な組織的な指導を行い、生徒一人ひと した生徒主体で議論を進めつつ、教員 であった。したがって、今回の校外学 た」と大学見学に対して前向きな意見 た」、「十分に見学できる時間がなかっ 今回の一学年の校外学習は例年と同様に学年全体での班行動を都内で行う 「授業・講義を受けてみたかっ



大学見学 班写真

# 高大接続改革をむかえるにあたって

進路指導係 森 下

学年

暁

高大接続改革をどうとらえるか

の変更」を求める改革であると捉える必要がある。 体的に捉え、各現場に、「これからの子供たちの生き方に沿った学習内容へ 身につけさせることが求められている。そのための高大接続改革であるので その様な変革の時代の中においては、これまでの物事を正確に正しく理解す これまでの常識では考えられないような社会変化に直面している時代である。 代を生きる子供たちに、その時代を生き抜く力をつけさせる」というもので Uncertainty:不確実、 官の鈴木寛氏の言葉を借りれば、「VUCA(ブーカ VUCA(Volatility:変動 年ぶりの大改革となる。この改革の趣旨はというと、文部科学省大臣補佐 る力以上に、 これまでのセンター試験を廃止し大学入学共通テストを実施するなど、四十 入学した一年生は、新大学入試の第一世代となることがすでに決定している 平成二十四年度から動き始めた高大接続に関する国の改革により、 現代は、 単なる入試制度の改革ではなく、 積極的な挑戦や不測の事態への対処ができる力を子どもたちの 情報化や高齢化の急激な進展、人工知能の発達などにより Complexity:複雜、 Ambiguity:曖昧の略称) 高校から大学までの流れを一 今年度 な時

## 一、大学入試はどう変わるの

められる学力要素の偏りがあったこれまでの入試の在り方を見直し、すべて ている。これは、入試形態(一般入試・推薦入試、AO入試など)により求 ③学びに対する主体性)を多面的・総合的に評価する入試への転換をもとめ だろうか。文科省は、学力の三要素 それでは、その目的を達成するために大学入学試験はどのように変わるの (①知識·技能、②思考力·判断力·表現力)

> 科目に係るテストの必須化などであろう。 幅広い学力の育成こそが、様々な変革に柔軟に対応できる人間を育てること をより重視する英語の四技能入試や、 につながるという考え方といえる。その流れの中で導入されるのが、 の入試形態で偏りなく学力の三要素をはかれるようにすることを求めている。 AO·推薦入試における小論文や教科

三、上田西高校の取り組み~クラッシーの導入~

シー」を導入している。クラッシー導入の主な目的は次の二つである。 上田西高校では改革に合わせて、本年度よりベネッセの提供による「クラッ

①家庭学習の定着と基礎学力と向上

くと考えている。 学習習慣の定着が図られ、 配信されるので、家庭での学習時間の確保につながる。これにより家庭での する必要が出てきている。クラッシーでは、各自の端末に学習動画や課題が いる。前記の様に、これらの入試を活用する生徒にも一定以上の学力を保障 本校では、大学進学者の多くが、これまで推薦入試・AO入試で合格 その結果として基礎学力の向上にもつながってい

②ポートフォリオの蓄積

での、 日々の記録を簡単にまとめられる仕組みができており、 せることができる。これらの記録は、 付きを記録できると同時に、学校側からのアンケート形式でも活動を記録さ るために求められているのがポートフォリオの蓄積である。クラッシーでは を掴み、自分が主体的に取り組むべき学習を理解することに大きく役立つと 多面的総合的な入試の導入で求められることは、学校内の学習に加える形 課外活動や、 学校外での活動の経験であるといえる。 自分がどのようなことに興味を持つか 自ら活動における気 それらをまとめ

習の充実により、これからの変革の時代を生き抜く人材育成の方法を追求し 体的学習の育成などを実施してきている。教科学習だけではなく教科外の学 実践していきたいと考える。 この他にも本校では、 GTECの全員受験や、ステージ週間を通じての主

## 西 高生 一の活躍

生 徒 슾 係

優勝 準優勝 春季北信越大会 秋季北信越大会 ベスト4 選手権県大会 準優勝

## 県高校総体 ベスト16

全国私学大会北信越大会 全国私学大会県予選会 ベスト4

## ○女子バレーボール部

県高校総体 出場

# )男子バスケットボール部

○卓球部 男子 県高校総体 出場 県選抜大会 出場 県新人戦 スト16

県高校総体 北信越高校総体 総体(シングルス)箱山楓②出場(ダブルス)箱山楓②・②・山田琉生①8位(河原弘季②・根本瞬①出場)団体ベスト16(シングルス)箱山楓②12位(ダブルス) 山田 箱 琉生 山 [楓

県新人戦 全日本選手権ジュニアの部 団体8位 シングルス ① 出 場 長野県予選会 シングルス 箱山楓②3位(全国選抜出場) 箱山楓②6位 根本瞬①

○**卓球部 女子** 長野県ジュニア選手権大会 シングルス 出場 山田琉生①出場 箱山楓②8位 (大阪選手権出場)

## 県高校総体 市 Ш 愛海①出場

団体ベスト16 シングルス ②・吉池美耶①出場 
団体出場 シングルス 滝澤華穂②出

ダ

ブルス

滝澤華穂

## )硬式テニス部 県新人戦

県高校総体 彰吾③・鈴木礼矢② 山本直幸③・東太耀② ベスト32 橋陸③・中島徹太② ベスト16 内堀広大③・塩川和生② 栁沢中島徹太②・塩川和生②・前所武龍① ベスト32 ダブルス 古 団体ベスト8 シングルス 柳沢彰吾③・古橋陸③・山本直幸③・

全日本ジュ 沢彰吾③・塩川和生②・中沢祐策②ベスト64 ダブルス 古橋陸ニアテニス選手権県予選 シングルス 中島徹太② ベスト16 栁 ③・中島徹太② 栁沢彰吾③・鈴木礼矢② ベスト32

U16シングルス 前所武龍①ベスト32 田中真幸①ベスト64 前所武龍①・田中真幸①ベスト32

> サマージュニアテニス大会 シングルス 太②・塩川和生② 優勝 中島徹 太② 優 勝 ダブ ル ス

> > 中 -島徹

全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会県予選県新人戦 (全国選抜高校テニス) 団体 2位 塩川和生②・前所武龍① ベスト32 シングルス -島徹· 太(2)

全国私学高校テニス北信越大会 団体 6位全国選抜高校テニス北信越大会 団体 6位

## 県高校総体 団体ベス ○硬式テニス部(女子)

団体ベスト8 シングルス 児玉華菜③・清水葵③・竹内愛裕③・ 葵③ ベスト8 児玉華菜③・竹内愛裕③ ベスト32 山岸杏美③・寺島綾菜②ベスト16 ダブルス 山岸杏美③・清水

全日本ジュニアテニス選手権県予選U18 シングルス 清水葵③ ス選手権県北信越予選U18 シングルス山岸杏美③・竹内愛裕③ ベスト16 6 位 ダブル

県新人戦(全国選抜高校テニス) 団体ベスト16 国体テニス競技県予選 寺島綾菜② ベスト32全日本ジュニアテニス選手権県北信越予選U18 シン 清水葵③ 初 戦敗退

県高校新人テニス選手権 女子A級シングルス 寺島綾菜②ベスト16 全国私学高校テニス北信越大会 団体 ベスト8 花① ベスト32 B級シングルス 依田華梨① 山口陽子① ベスト16 ダブルス 寺島綾菜②・古越歩花① 宮下絢野 ベスト16 古越步

## 県高校総体男子 男 子 ① 黒岩凛① ベスト32 B級ダブルス 依田華梨①・黒岩凛①

100㎏級 小平和実出場 100個人戦 60㎏級 西野入嵩大出場団体戦出場 1 0 0 0 kg 66 超 kg 級 級 池田進太郎出場藤澤翔出場

## 県高校総体本資部 女子 女子

個人戦 52㎏級 中曽根彩香出団体戦ベスト8出場 場 57 kg 級 坂 井エ リナ出場

## ○剣道部 県高校総体

○剣道部

西村真陽①出場団体ベスト16 世 県新人戦 竹内大貴②出

## **-** 29 **-**

団体出品

## ○サッカー部

県高校総体 県新人戦 ベスト8 準優勝 県1部リー グ 3 位 県高校選手権 準優勝

## ○サッカー部 女子

県高校総体 3位 皇后杯(全日本女子サッカー 県女子サッカーリーグ2部参戦 県高校選手権 3位 県新人戦リーグ3位 出

## ○バドミントン部 男子

国民体育大会長野県予選 ダブルス 中村健太郎・木村拓海 出場伊藤拓人・小平桂吾 ベスト16

シングルス 小平桂吾

県高校総体 学校対抗 のバドミントン部 女子 出場

国民体育大会長野県予選 ダブルス 宮下さくら・白石菜花 小林明菜・笹澤奈津弥 出出場場

シングルス 宮下さくら 出場 坂口実希

○陸上部

県高校総体 春の高校伊那駅伝大会(県新人駅伝) 男子 県内2位 1 5 0 0 m 7 位 矢野大和③

3000m障害 400mハードル 7位 與川夢翔② 7位 小山琉弥②

1500m 3位 小板橋恭征①

400mハードル 1位 與川夢翔② 3000m障害 3位 小山琉弥② 6 位 征矢快誠

1

2 0 0 m 2位 與川夢翔②

5000m 5位 小板橋恭征① 8位5000m競歩 4位 高橋響希② 依田健汰① 征矢快誠

6 位

北信越新人戦

5 0 0 0 m 競歩 5位 高橋響希②

県高校駅伝 男子3位 男子11位

## ○山岳部 北信越高校駅伝

·登山競技

県高校総体 女子団体5位

県クライミング大会兼北信越国体予選会兼全国高等学校選抜クライミング選 ・クライミング競技

> 手権大会長野県代表選抜会 男子代表

女子県代表 田中ひかる 竹花愛結実

全国高校選抜選手権 女子 竹花愛結実八十六位・学校対抗 女子十三位個人男子 西滉太一〇五位・女子 田中ひかる八十一

位

## ○レスリング部 男子

県高校総体 個人戦 51㎏級①佐々木 55㎏級①曽根 2学校対抗戦 優勝( 二十一回目の団体出場 60㎏級①大橋

71㎏級①稲葉

51 kg級②井出 60 65 l25 kg kg 級 ② 佐藤 級 ③清水 65 80 kg 級③保志

92 51 kg 級 3 西川

北信越総体 学校対抗戦 3位

個人戦 51㎏級①佐々木 71 80 60 kg kg kg 級 ② 滝澤 標

51 55 kg級② 井出

高校総体 学校対抗戦

個人戦 60 kg 級 60 kg 3 位 2 回戦敗退 大橋 51 kg 級

スト8

佐々木

県新人戦 学校対抗戦 優勝

個人戦 55 65 51 kg kg kg 級①保志 管崎 60 71 55 kg kg kg 級①佐森 木

学校対抗戦 優勝 個人戦 65 92 60 kg kg kg 級① 西川 模 55 51 kg 級 ③宮﨑 出出

北信越選抜

全国選抜 学校対抗戦・個人8名 65 55 60 kg kg 級②佐々木 出場予定 65 71 92 kg kg 級②佐藤 (1) 20 (1

〇アーチェリー部 男子

県高校総体 団体3

○アーチェリー部 女子

県高校総体 団体1位

北信越高校選手権 出場 個人戦 樋澤佳音 ベスト8

|体4位

全国高校選手権 樋澤佳音 田村里南 中村真海 出場

○ハンドボール部

県高校総体 出場 県高校新人戦 ベスト8

○フットサル部

長野県U18フットサルリーグ 3位 全日本ユースU18県大会 3位

長野県トレセン選手

春季県大会 選手権北信越大会 優勝 春季北信越大会 優勝 選手権全国大会 3位 秋季県-秋季県大会 出場

マーチングバンド関東大会 高等学校の部 小編成 銅賞県マーチングバンド大会 高等学校の部 小編成 金賞 県代表 全国高等学校総合文化祭 マーチング・バトントワリング部門出場県吹奏楽コンクール高校部門 小編成の部 金賞 県代表 東海吹奏楽コンクール高等学校部門 小編成の部 銀賞

全国書道展(大東文化大学主催)審査員奨励賞 武井恭香 六〇回記念大賞

県高校総合文祭 東信高校書道展 長野県書道展 金賞 武井恭香他9名出品

第40回県高等学校美術展 す時が来るまで。」 F5号キャンバス(油彩)藤極愛実「過去の私をしまいましょう。また想い出

第10回全国理容美容学生技術大会へアデザイン画部門 第10回全国理容美容学生技術大会北信越大会へアデザイン画部門 優秀賞 石岡亜衣実 敢闘賞 石岡亜衣実

## ○華道部

団体・優勝 個人・山﨑舞第二回長野地区・学生いけばな競技会

最優秀賞 鷹野由奈

準優秀賞

## ○軽音楽部

高文連東信支部芸術文化交流会 出場高文連合同演奏会東北信大会 出場

## ○文芸部

高文連東信支部芸術文化交流会 文芸専門部俳句研修会 全国高等学校総合文化祭(信州総文祭) 大田清月他3名参加 小林日那乃他4名参加

オールハローズスクール(豪ブリスベン)受け入れ

CCGSフードツアー受け入れ 25名

CCGSスポーツツアー受け入れ 50名

長野県高校生英語キャンプ及びレシテーションコンテスト 20名参加

國學院大學主催「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト 中部大学春日丘高校(名古屋)インターアクトクラブ交流 学校活動部門

応募

長期留学生歓迎BBQ

## その他

全国数学選手権(数学甲子園)予選出 和田ゆめか・青木雄大・青山加奈・中澤友美佳・西野入嵩大

## ○国語科

うえだ七夕文学賞

秀逸賞 秀逸賞 新品の半袖に手を通したら青いにおいの夏の始まり 雨音も掻き消す鼓動傘の中君の横顔少し切なく 中山

入選 入選 帰り道カエルと共に聞こえる声自然と大地の混声合唱 流れ星みんなの願い叶えます思い届けるひみつのポスト 上原 大日方 綾 綾愛 杏

入選 入選 炎天下必死で頑張る高校生自分も何かに本気になりたい 水入りの平茶碗でのお点前は暑さ忘れる音を響かす 須江 橋詰 舞菜

入選 入選 庭先で見つけた蛍火祖母思う 墓参りお世話になったばあちゃんへ

佳作 冬こそがなりたい自分に変わるとき 「第二十九回伊藤園お~いお茶新俳句大賞」

放送委員会

第65回NHK杯全国高校放送コンテスト(第55回長野県大会)

朗読部門 竹本咲良・伊藤暖起・横山瑠南・千葉奈々夏・今井亜美 アナウンス部門 西沢こころ 努力賞 奨励賞

第37回TSB杯長野県高等学校新人放送コンテスト(第19回長野県高文連放送専 門部県フェスティバル) 朗読部門 竹本咲良・竹内春人 優良賞

オメッセージ部門 上田の自慢「じまん焼き」 優良賞

アナウンス部門 今井亜美 努力賞

小松鈴音 奨励賞

ビデ

## ○放送委員会

ション参加 パナソニック・共同通信主催 オリンピック パラリンピック連動プロモ

硬式野球 · 軟式野球部特集上田市内3万世帯配布 全国高等学校総合文化祭(信州総文祭) 参加 共同通信主催・文化庁主催 文化プログラムプレスセンターサミット参加 田市議会だより執筆 上田市内全戸配布

長野県高等学校新聞コンクール 優良賞

知里

菜緒

## 平成 30 年度 上田西高校進路合格実績一覧(平成 31 年 2 月 1 4 日現在) ※延べ人数

・発表前のため、推薦以外の国公立大学については未掲載です。

## [四年制大学(国公立)]

大学名	学 部	人数
	医学部 (看護学専攻)	1
	教育学部	1
信 州 大 学	工学部	1
	繊維学部	1
	農学部	1
公立諏訪東京理科大学	工学部	1
長野県看護大学	看護学部	1
長野県立大学	グローバルマネジメント学部	1
	健康発達学部	1
長 野 大 学	企業情報学部	3
合	計	12

長野県看護大学	看護学部	1
	グローバルマネジメント学部	1
長野県立大学	健康発達学部	1
長 野 大 学	企業情報学部	3
É	<del>-</del>	12
[四年制大学(私立		
大学名	学部	人数
桜 美 林 大 学		1
	レ献立ル学却	1
大妻女子大学	文学部	<u> </u>
	工学部	<u> </u>
神奈川工科大学		1
	外国語学部	
		1
	経営学部	1
神奈川大学	経済学部	1
	人間科学部	1
	法学部	1
A 'D # 15 1 #	理学部	1
金沢学院大学		1
^ '' - <del>**</del>   '	建築学部	1
金沢工業大学		2
\\ \text{\tin}\text{\tetx{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\ti}\\ \ti}\\\ \ti}}}}}}}}}}} \eximiniminiminiminiminiminiminiminiminimi	バイオ・化学部	1
鎌倉女子大学		1
川村学園女子大学		1
神田外語大学		1
	経営学部	1
関東学院大学	経済学部	1
	国際文化字部	2
	法学部	1
岐阜聖徳学園大学		1
共立女子大学		1
群馬医療福祉大学		1
群馬パース大学		2
敬愛大学		1
国士舘大学	政経学部	1
	法字部	1
埼玉工業大学		2
佐 久 大 学		2
芝浦工業大学		1
十文字女子大学		1
城 西 国 際 大 学		2
城 西 大 学	経営学部	1
	経済学部	1
尚美学園大学		1
上武大学	看護学部	1
_ = / 7	ヒンネス情報	1
	経済経営学部	1
駿河台大学	心理学部	1
	法字部	2
	メディア情報学部	1
星城大学		1
清泉女学院大学	看護学部	2
	人間字部	2
洗足学園音楽大学		1
大 正 大 学	仏教学部	1
	外国語学部	1
大東文化大学		1
	文学部	1
高岡法科大学	法学部	1
	健康福祉学部	1
高崎健康福祉大学	保健医療学部	1
	薬学部	1
T 111 + "	経営学部	1
玉川大学	文学部	2
千葉工業大学		1
	<b>奴</b>	1
千葉商科大学	政策情報学部	1
中部学院大学		1

並	÷ 10		24	<b>上</b> 人理控出初	
帝	京科	学 大	子	生命環境学部	2
				経済学部	1
帝	京	大	学	文学部	3
L.				法学部	1
帝	京平		学	現代ライフ学部	1
桐	蔭 横	浜 大	学	スポーツ健康政策学部	1
東	海	大	学	法学部	1
東	京工	芸 大	学	芸術学部	1
=	÷ 🗩	[76/∀ —]	学	経済学部	2
東	京国	際大	子	言語コミュニケーション学部	1
東	京農	業大	学	生物産業学部	1
				教育学部	1
東	京福	祉 大	学	心理学部	1
				保育児童学部	1
				社会学部	1
同	志	土 大	学	神学部	1
獨	協	大	学	経済学部	<u> </u>
				看護学部	<u> </u>
長	野保健	医療大	学	保健科学部	1
夕	古层从	国語大	- 岑	現代国際学部	i
		医済大		経営学部	1
				健康科学部	<u> </u>
-					2
		業大		経済学部	
브	4 医 僚	科学大	、子	保健医療学部	1
				工学部	1
_				商学部	1
日	本	大	学	生産工学部	2
				生物資源科学部	1
				理工学部	1
花	遠	大	学	文学部	2
文		院大	学	外国語学部	1
平	成 国	際大	学	法学部	1
法	政	大	学	現代福祉学部	1
前	橋 国	際大	学	国際社会学部	1
松	本 歯	科大	学	歯学部	1
				教育学部	1
松	本	大	学	総合経営学部	3
				人間健康学部	6
武	蔵り	野 大	学	経済学部	1
明		院大		法学部	1
名	城	大	学	経営学部	1
				経営学部	1
Ш	梨 学	院大	学	スポーツ科学学部	1
-	-1/ 1	,,,,	,	法学部	3
流	涌 科	学大	学	商学部	1
和	光	大		表現学部	1
和	 洋 女		学	人文学部	1
1711	/+ X	<u> </u>		<u>八文子印</u>   計	134
	540-1-22	4 (//\-	<u>合</u>	司	134
L۶	立州人子	≥(公立	<i>)</i> ]		

大学名	学 科	人数
大月市立大月短期大学	経済学科	1
倉敷市立短期大学	保育学科	1
슾	≣+	2

## [短期大学(私立)]

大学名	学 科	人数
上田女子短期大学	総合文化学科	3
工四久 ] 短朔八子	幼児教育学科	7
大妻女子大学短期大学部	栄養学科	1
信州豊南短期大学	言語コミュニケーション学科	2
清泉女学院短期大学	国際コミュニケーション科	3
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	幼児教育科	3
戸板女子短期大学	服飾芸術学部	1
長野女子短期大学	生活科学科	1
文封/女丁拉朔八子	健康栄養学科	2
日本歯科大学東京短期大学	歯科衛生学科	1
松本短期大学	看護学部	1
目白大学	短期大学部	1
山梨学院短期大学	保育学科	1
合	計	27

## [専門学校など]

学校名	人数
上松技術専門校	1
アップルスポーツカレッジ	1
上田情報ビジネス専門学校	8
上田福祉敬愛学園	1

NGL学園高崎動物専門学校	1
エプソン情報科学専門学校	1
大田医療技術専門学校	4
大原学園長野校 大原スポーツ公務員専門学校	12
大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校 松本校	1
大原学園長野校 大原簿記情報ビジネス医療専門学校	1
大宮国際動物専門学校	1
海上保安学校	1
神田外国語学院	1
北里大学保健衛生専門学院	3
窪田理容美容専門学校	2
国際理容美容専門学校	1
小諸看護専門学校	1
埼玉歯科技工士専門学校	1
佐久総合病院看護専門学校	3
JNM 日本アニメ・マンガ専門学校	1
首都医校	1
信州医療福祉専門学校	2
信州上田医療センター付属看護学校	3
新宿医療専門学校	1
専門学校カレッジオブキャリア 長野校	1
高崎ビューティーモード専門学校	1
中央工学校	2
帝京高等看護学院	1
東京ウェディング&ブライダル専門学校	1
東京栄養食糧専門学校	1
東京こども専門学校	1
東京コミュニケーションアート専門学校	2
東京スクールオブビジネス	1
東京スポーツレクリエーション専門学校	1
東京リゾート&スポーツ専門学校	1
東放学園専門学校	1
長野医療衛生専門学校	1
長野看護専門学校	1
長野社会福祉専門学校	2
長野調理製菓専門学校	2
長野理容美容専門学校	2
日本医薬専門学校	1
日本外国語専門学校	3
日本工学院八王子専門学校	3
服部栄養専門学校	1
バンタンデザイン研究所	1
ベルボック美容専門学校	1
真野美容専門学校	2
横浜医療専門学校	1
横浜ビューティ&ブライダル専門学校	1
読売理工医療福祉専門学校	1
<u>合</u> 計	90
「就職」	

## 「就職)

「別埔」	
企 業 名	人数
アイティ技研	1
アピックヤマダ	1
御菓子処 花岡	1
株式会社カネト	1
株式会社 御牧	1
株式会社ラポール	1
株式会社アイカム	1
株式会社明治 軽井沢工場	1
木下建工株式会社	1
佐久森林組合	1
相馬商事カーブス	1
長野計器株式会社	2
ニチイ学館	2
ハシバテクノス株式会社	1
東日本三菱農機販売株式会社関東甲信越支社長野支店	1
みすず興業	1
宮後工業株式会社	1
自衛隊	2
合 計	21

平成30年度 TM 30 平度 上田西高の教育 第 63 号 平成 30 年 3 月 2 日発行 発行:上田西高等学校 印刷:田口印刷株式会社